

令和7年2月20日更新

更新ページ 26,47,56

追加ページ 19-21, 27-28, 32,34-35,37-45,61,66-70

防災基礎

(基本編)

大竹市
危機管理課



公開先
大竹市HP
防災研修資料

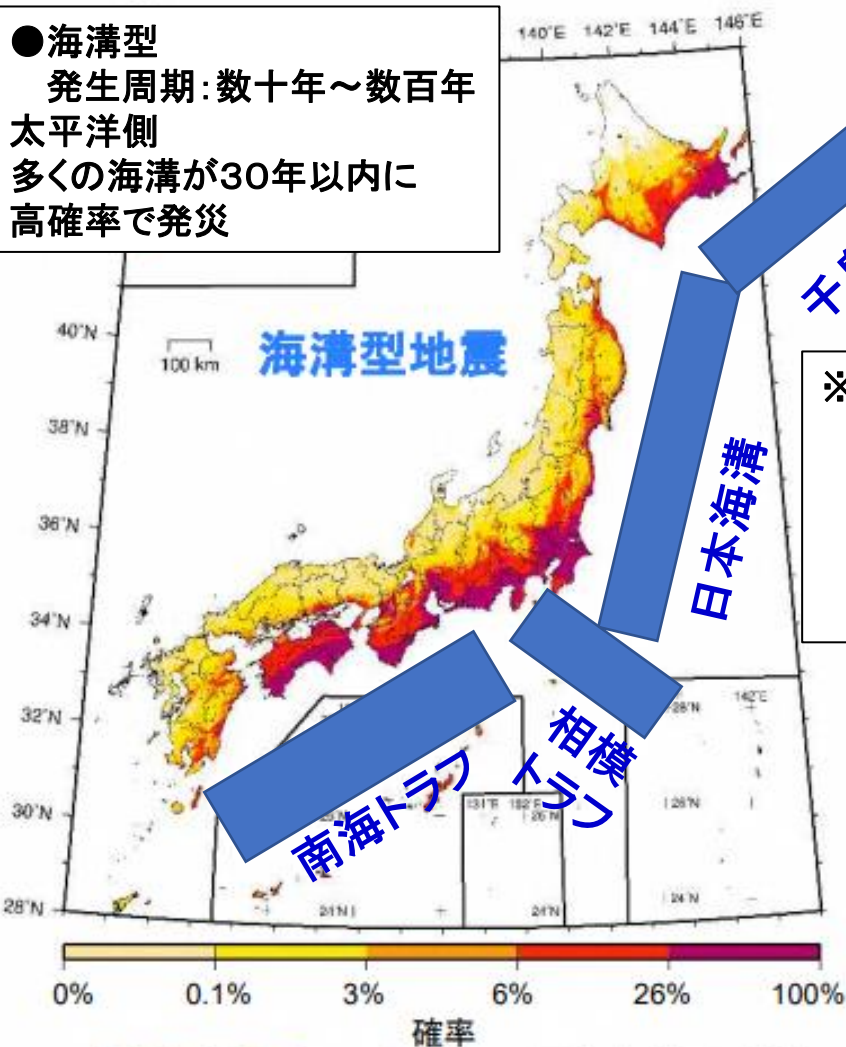
次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

2020年から30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率

●海溝型

発生周期: 数十年～数百年
太平洋側
多くの海溝が30年以内に
高確率で発災

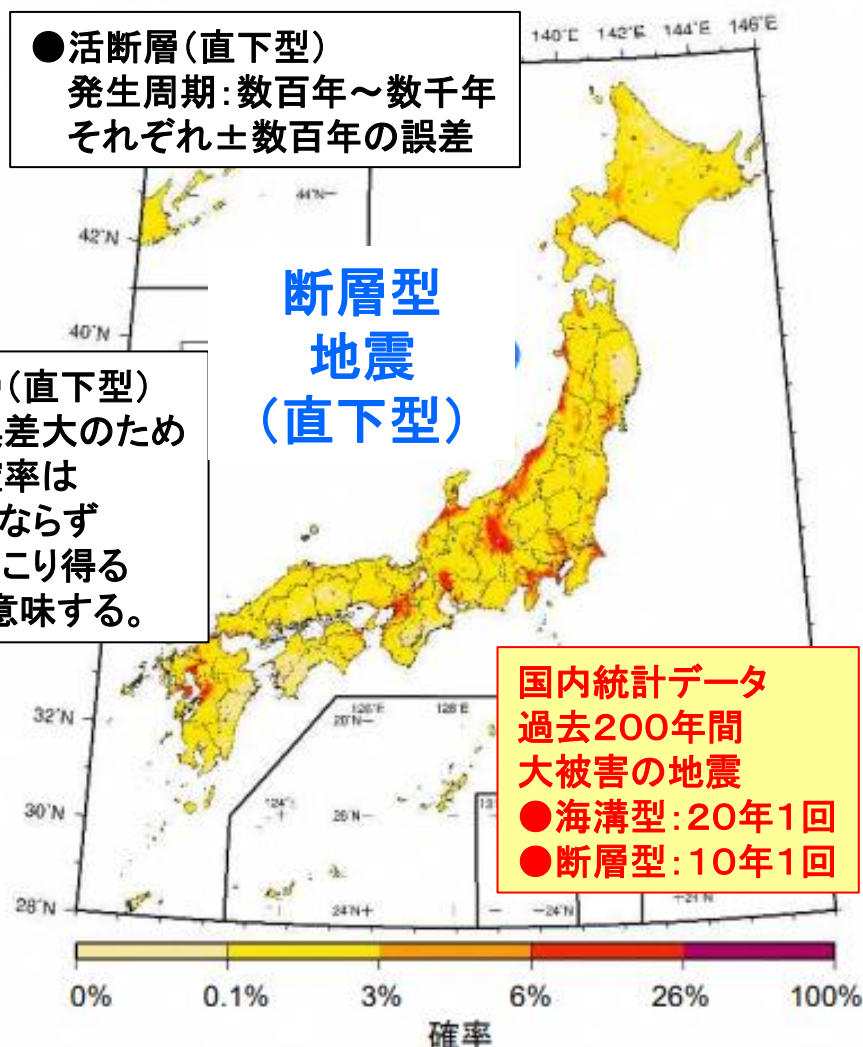


●活断層(直下型)

発生周期: 数百年～数千年
それぞれ±数百年の誤差

※活断層(直下型)
周期誤差大のため
発生確率は
当てにならず
常に起こり得る
ことを意味する。

断層型 地震 (直下型)



国内統計データ
過去200年間
大被害の地震

- 海溝型: 20年1回
- 断層型: 10年1回

海溝型地震による揺れに見舞われる確率

活断層などの浅い地震による揺れに見舞われる確率

次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

広島県の特徴 土砂災害

- 山地(7割)多数の河川
- 沿岸部
- 島しょ部

多彩な地形 ⇒ 様々な風水害が発生

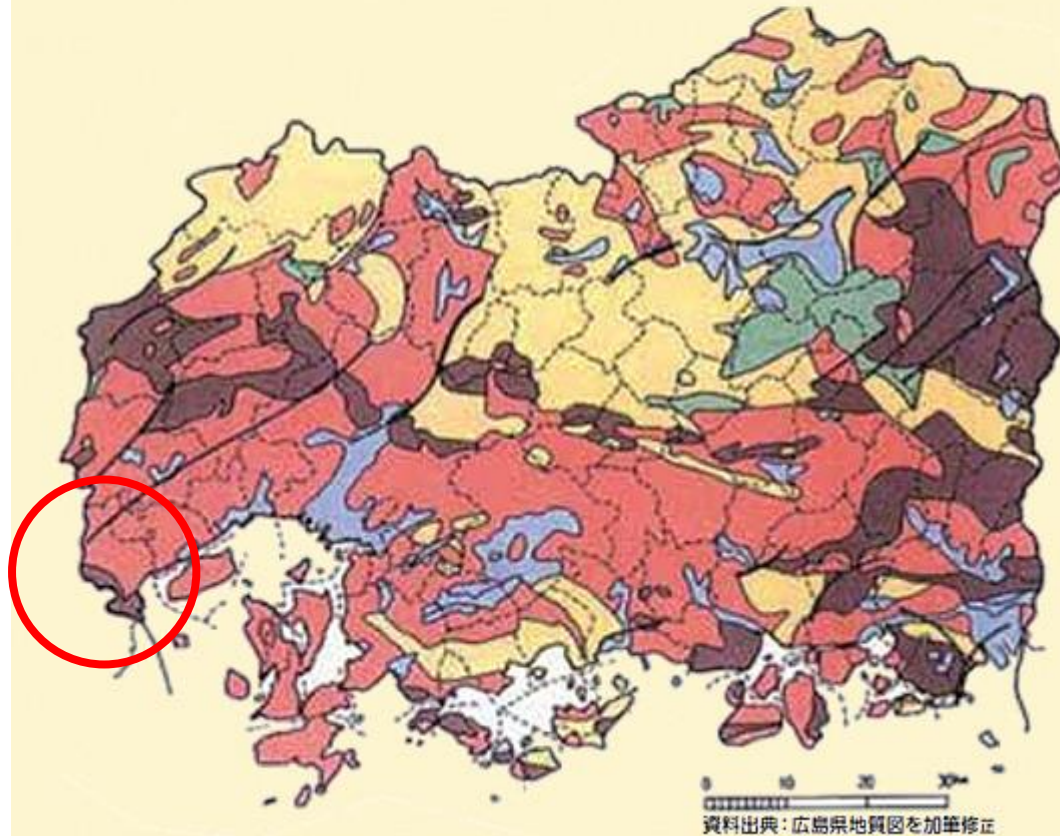


広島県の特徴 土砂災害

広島県の地質は？

県土の大半は風化・浸食されやすい花こう岩類（マサ土※）が広く分布し、それらを覆って火山岩類が分布しているため、豪雨などによる災害が発生しやすい。

※マサ土とは、水に濡れてしまうと、とても崩れやすく弱い土です。



赤色：花こう岩（マサ土）
⇒土砂災害：発生しやすい
県内に多く分布
大竹市も同様



広島県の特徴 土砂災害

80年間(広島県)

広島県
土砂災害
頻繁に発生

年月	要因	災害種別			主な被災地	被害の概要
		土砂	洪水	高水		
S20. 9	枕崎台風	●	●		呉市 旧大野町 他	死者・行方不明者2,012名、 家屋全壊2,127戸、半壊3,375戸 他
S26.10	ルース台風	●	●	●	大竹市 旧佐伯郡 他	死者・行方不明者166名、 家屋全壊716戸、半壊1,267戸 他
S42. 7	豪雨	●	●		呉市 他	死者・行方不明者159名、 家屋全壊514戸、半壊605戸 他
S47. 7	豪雨	●	●		三次市 庄原市 他	死者・行方不明者39名、 家屋全壊349戸、半壊2,171戸 他
S63. 7	豪雨	●	●		旧加計町 他	死者・行方不明者15名、 家屋全壊38戸、半壊20戸 他
H 3. 9	台風19号	●	●	●	呉市 旧宮島町 他	死者6名、 家屋全壊50戸、半壊442戸 他
H11. 6	豪雨	●	●		広島市 呉市 他	死者32名、 家屋全壊154戸、半壊101戸 他
H11. 9	台風18号	●		●	広島市 呉市 他	死者5名、 家屋全壊2戸、半壊7戸 他
H16. 9	台風18号	●	●	●	広島市 廿日市市 他	死者5名、 家屋全壊27戸、半壊204戸 他
H18. 9	台風13号	●	●		安芸高田市 北広島町 他	死者・行方不明者2名、 家屋全壊4戸、半壊6戸 他
H22. 7	豪雨	●	●		庄原市 世羅町 他	死者5名、 家屋全壊19戸、半壊35戸 他
H26. 8	豪雨	●	●		広島市	死者77名、 家屋全壊179戸、半壊217戸 他
H30. 7	豪雨	●	●		県内全域	死者149名・行方不明者5名 (R2.2.10時点) 家屋全壊1,162戸、半壊3,628戸 他

大竹市被害

大竹市被害

大竹市
70年以上
大規模災害
の経験なし



正常化バイアス

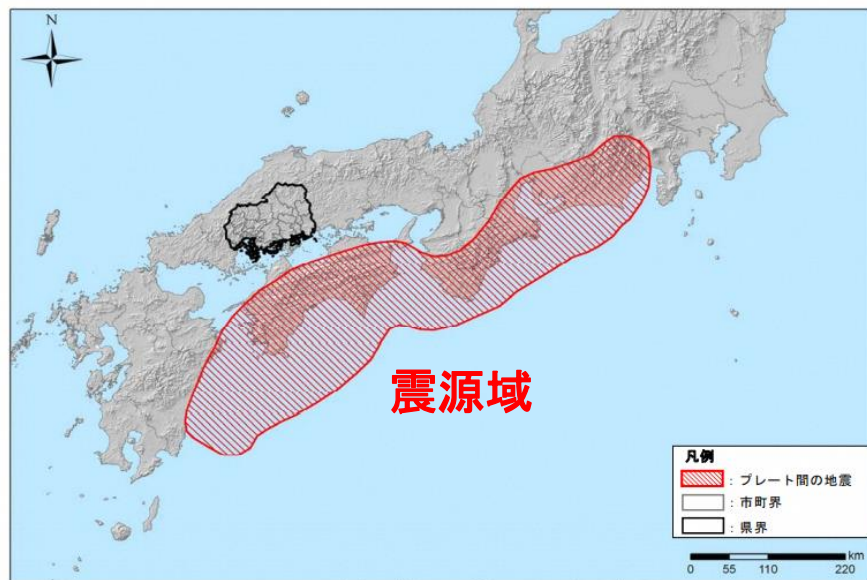
思い込み
「今回も大丈夫だ」



防災上の弱点

出典:ひろしまマイ・タイムライン

広島県の特徴 地震 南海トラフ巨大地震（海溝型）



図Ⅰ.4.1-1 想定地震位置図（南海トラフ巨大地震）²⁷

広島県は震源域の範囲外

広島県 震度:最大7

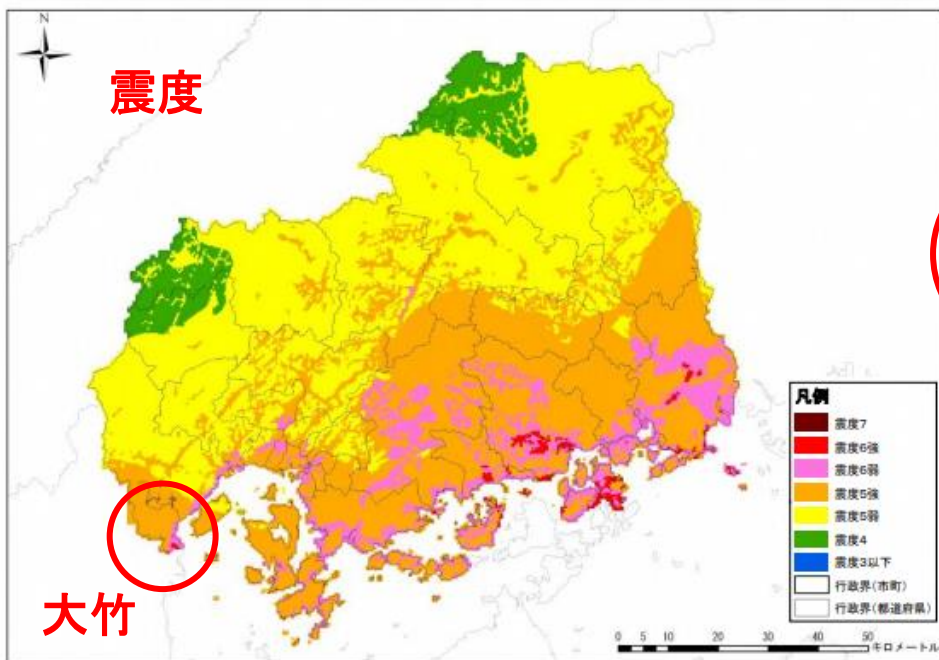
津波:最大3.5m

大竹市 震度:最大6強

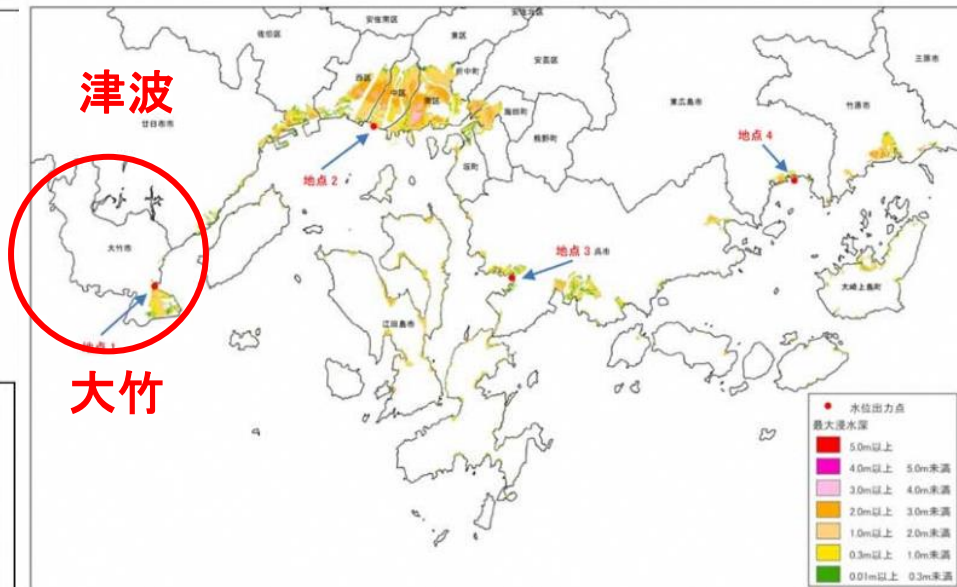
津波 第1波 26分後

最大高3.4m

約3時間後



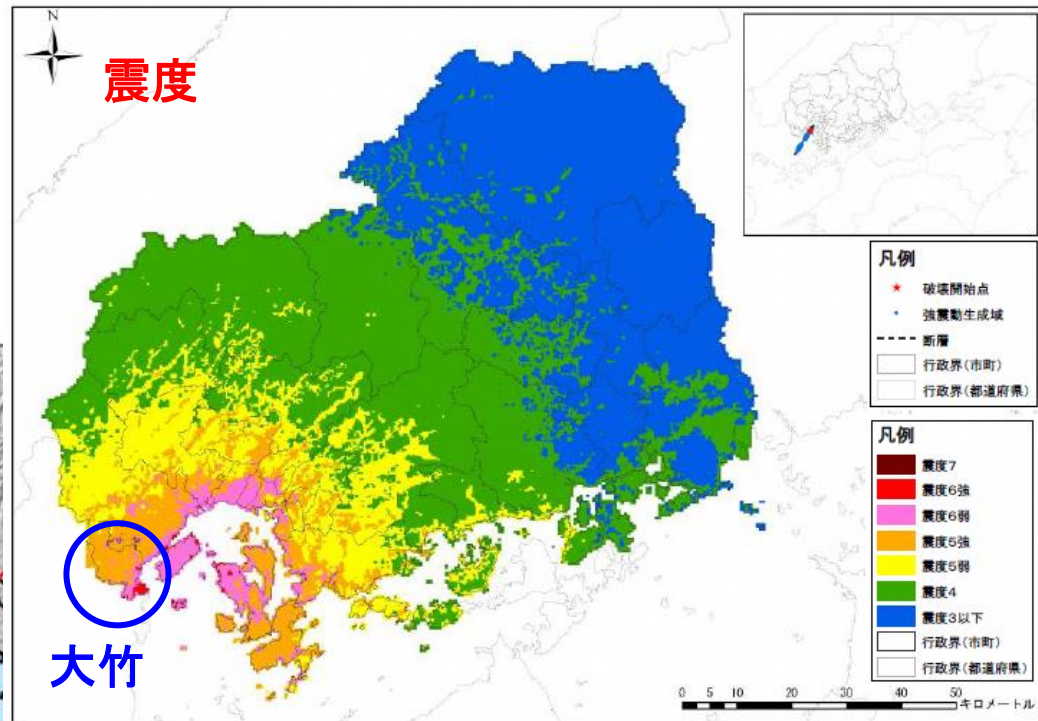
南海トラフ巨大地震（重ね合わせ）



図Ⅲ.1.1-11(1) 水位時系列変化図（西部）

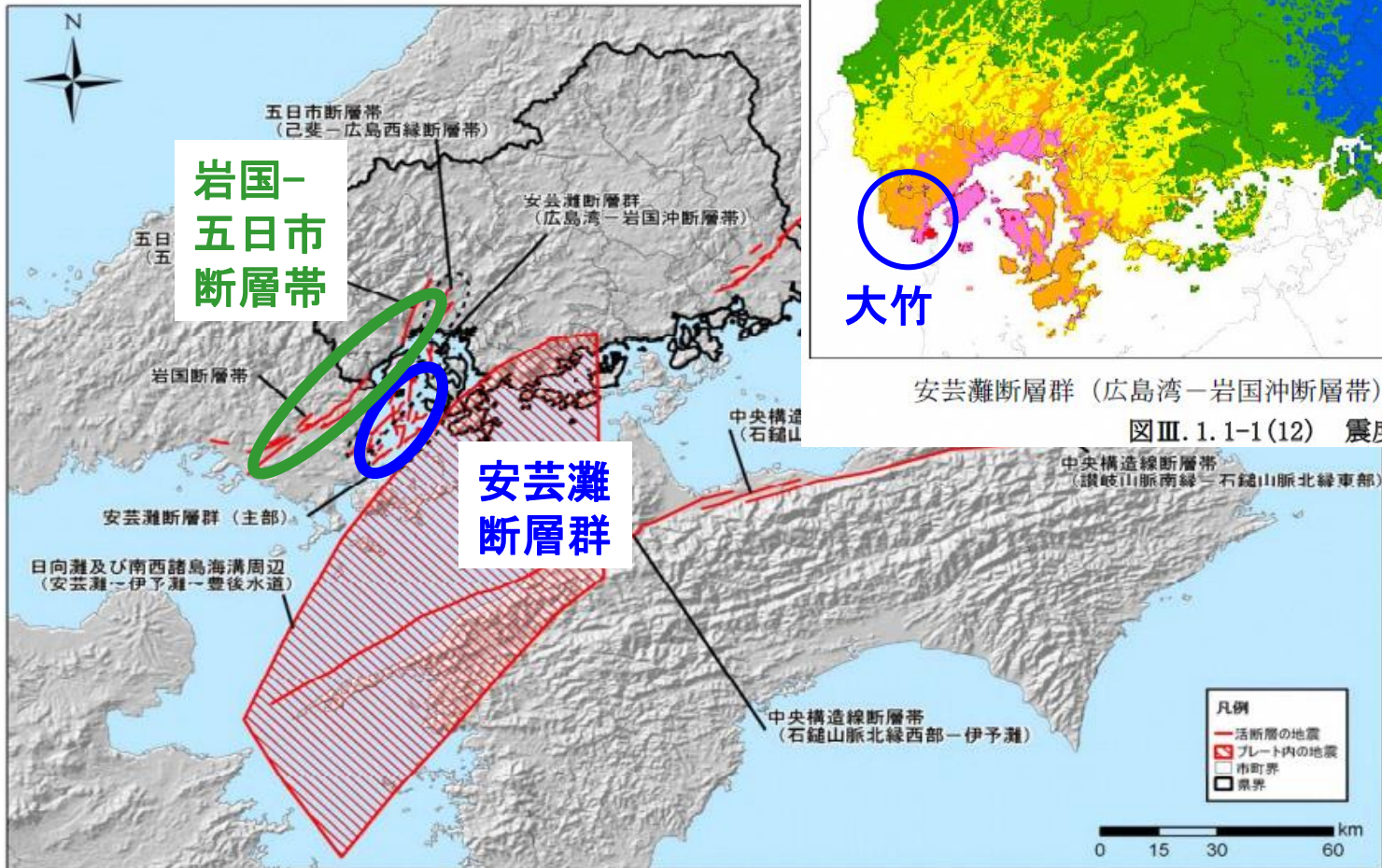
出典:広島県地震被害想定報告書(H25,10)

岩国・五日市断層発災時
震度 広島県:最大6強
震度 大竹市:6強～5強



安芸灘断層群（広島湾－岩国沖断層帯）の地震（北から破壊）

図Ⅲ. 1. 1-1 (12) 震度分布



図Ⅰ. 4. 1-2 想定地震位置図（既に明らかとなっている断層等を震源とする地震）

次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

大竹市の特徴 全般



大竹市全般 (JR線より山側)
大雨・土砂⇒毎年避難指示

作成: 大竹市危機管理課

災害の種類		特徴	
豪雨	土砂	脆弱性は県内他市町と同等 小規模 山間部通行止⇒毎年発生 避難指示⇒毎年発生 大規模 少ない(運が良かった)	
	洪水	玖島川: 渡ノ瀬ダム調整力小 増水⇒避難指示⇒毎年発生 R4年: 緊急安全確保(広島初) 小瀬川: 弥栄ダム 調整力大⇒下流安全性高 能力不能時⇒大洪水発生	
台風	土砂 洪水	豪雨に同じ	
	暴風	地形上: 被害少(四国がブロック)	
	高潮	満潮時と最接近が同時・台風中心が大竹の西を北上する場合 ⇒玖波海岸・高潮発生通行止	
地震	南海トラフ (海溝型)	地震動	震度5強～6強
		津波	最大3.4m(堤防崩壊の場合)
	安芸灘断層群 五日市-岩国断層帯 (断層型)	地震動	震度5強～6強
		津波	不明(可能性あり)

月日	区分	警戒レベル 避難情報	災害対策 本部	避難場所	状況 (対象地区)	人的 被害
7月8日 ～ 7月9日	大雨	3:高齢者避難 4:避難指示	設置	開設	非常に激しい雨により、数か所で道路冠水	なし
8月8日 ～ 8月9日	台風9号	なし	なし	開設	台風接近による風雨	なし
8月11日 ～ 8月19日	大雨	3:高齢者避難 4:避難指示	設置	開設	長期に渡る激しい雨により、渡ノ瀬ダム放流 (栗谷地区)、小瀬川ダム放流(大栗林、小方 町小方、後飯谷)、土砂災害危険度上昇(市内 全域)	なし
9月4日	大雨	なし	なし	なし	短時間の強い雨雲の通過	なし
9月17日	台風14号	なし	なし	開設	台風接近による風雨	なし

災害対策本部設置 : 2回

避難場所開設 : 4回

令和4年度の状況

月日	区分	警戒レベル: 避難情報	災害 対策 本部	避難 場所	状況 (対象地区)	人的 被害
9月 18日 19日	台風 14号	3:高齢者等避難(土砂・洪水) 4:避難指示(土砂・洪水) 5:緊急安全確保(洪水)	設置	開設	大雨・暴風警報発表 (強風域入ったが、暴風域に入らず) 土砂対応(市内全域) 洪水対応(栗谷地区)	なし

広島県初の適用

災害対策本部設置 : 1回

避難場所開設 : 1回

令和5年度の状況

月日	区分	警戒レベル: 避難情報	災害 対策 本部	避難 場所	状況 (対象地区)	人的 被害
6月 30日	大雨	3:高齢者等避難(土砂)	なし	開設	大雨警報(土砂)発表 土砂対応(阿多田島)	なし

災害対策本部設置 : 0回

避難場所開設 : 1回

次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

時代が求める防災のあり方の変化

従来の
考え方

住民の
命は
行政が
守る

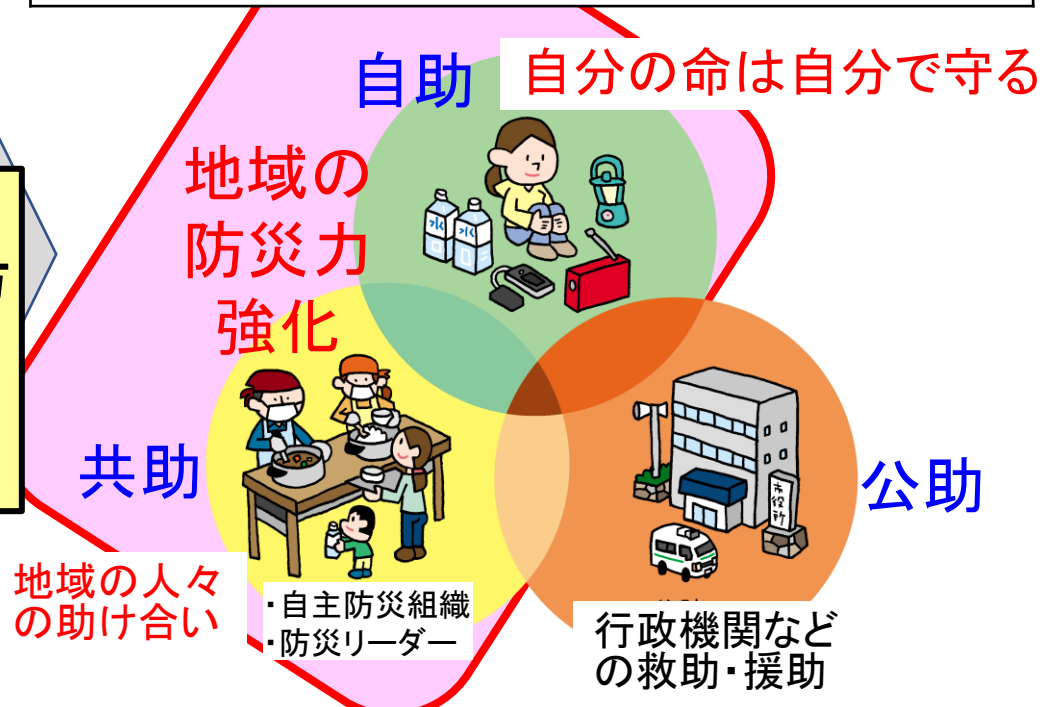
平成23年
東日本大震災

平成28年
熊本地震

平成30年
7月豪雨

(内閣府)
このやり方
では
住民を
守れない

時代が求めているもの



平成30年12月 中央防災会議・防災対策実行会議(30年7月豪雨災害・避難に関するワーキンググループ)報告書より

<国民の皆さんへ～大事な命が失われる前に～>

「行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。行政は万能ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。」

次 第

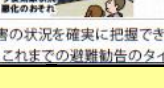
- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

避難情報

令和3年5月20日から

警戒レベル
4

ひなんしじ
避難指示で必ず避難
ひなんかんこく
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫 ひなんしじ 緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	 災害の おそれ高い ひなんしじ 避難指示※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 災害状況悪化 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後災害状況悪化のおそれ 早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3

①警戒レベル1～2
気象庁の発表情報に基づき
自動的に設定・発令
(市町は発表しない)

⑤ 警戒レベル5 緊急安全確保
逃げ遅れた人の緊急手段

④ 警戒レベル4 避難指示
避難すべき場所にいる人全員
避難を完了

③ 警戒レベル3 高齢者等避難
高齢者とは、避難に時間を要
する人全て(ご高齢の方・障害
のある方・乳幼児・)

② 警戒レベル3～5
総合判断に基づき
各市町が独自に決定・発令

避難情報

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル

防災気象情報

出典：内閣府避難情報に関するガイドライン
(令和3年5月改定、令和4年9月更新)

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報(避難情報等)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 (必ず安全されるものではない)

＜警戒レベル4までに必ず避難！＞

4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示 (従来の避難勧告の タイミングで発令)
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難※	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報

市町村は、警戒レベル相当情報の他、暴風や日没の時刻、堤防や樋門等の施設に関する情報なども参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

警戒レベル相当情報	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害に関する情報	高潮に関する情報
	水位情報がある場合 (下段：国管理河川の洪水の危険度分布※1)	水位情報がない場合 (下段：洪水警報の危険度分布)	内水氾濫に関する情報		
5相当	氾濫発生情報 (危険度分布：黒) (氾濫している可能性)	大雨特別警報 (浸水害)※2		大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報※3

4相当	氾濫危険情報 (危険度分布：紫) (氾濫危険水位超過相当)	危険度分布：うす紫 (非常に危険)※4	内水氾濫危険情報 (水位周知下水道において発表される情報)	土砂災害警戒情報 危険度分布：うす紫 (非常に危険)※4	高潮特別警報※5 高潮警報※5
3相当	氾濫警戒情報 (危険度分布：赤) (避難判断水位超過相当)	洪水警報 危険度分布：赤 (警戒)		大雨警報(土砂災害) 危険度分布：赤 (警戒)	高潮警報に切り替える可能性に言及する高潮注意報
2相当	氾濫注意情報 (危険度分布：黄) (氾濫注意水位超過)	危険度分布：黄 (注意)		危険度分布：黄 (注意)	
1相当					

※高齢者等以外の人も、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難

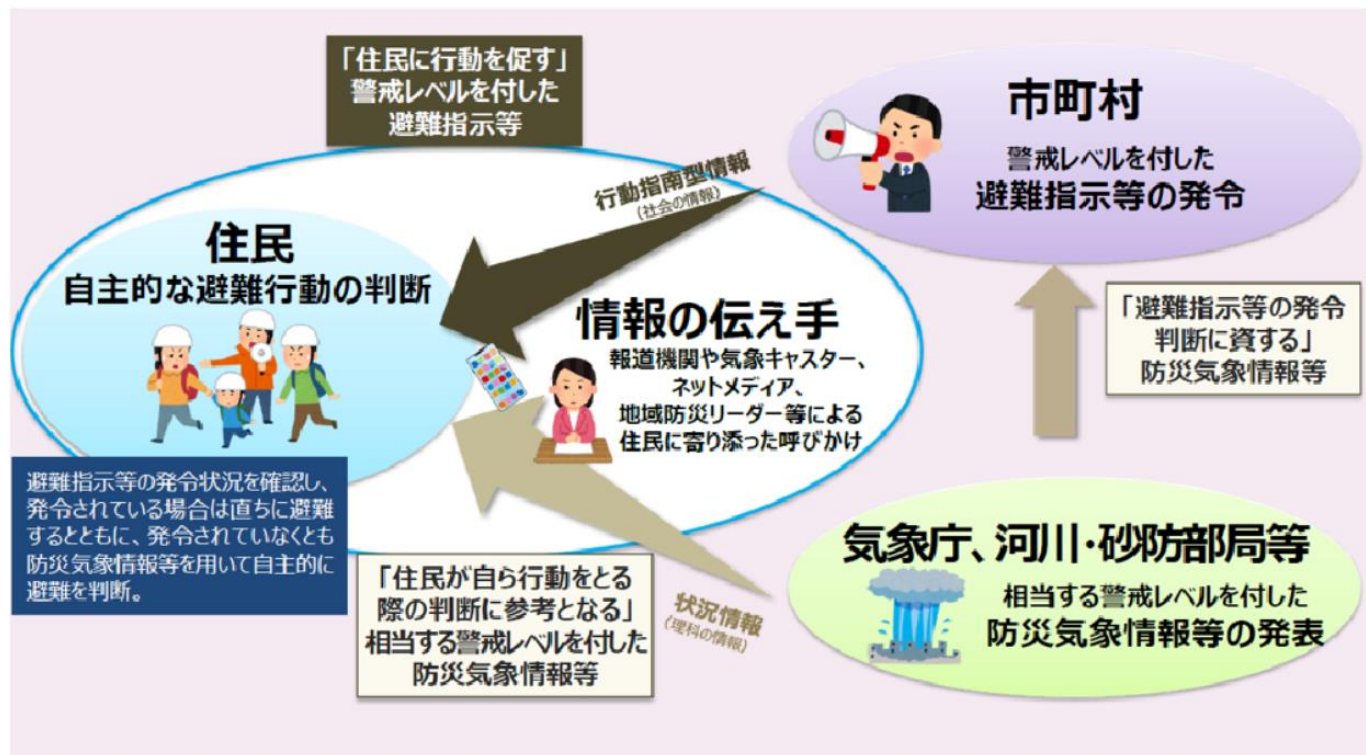
上段太字：危険性が高まるなど、特定の条件となった際に発表される情報（市町村に対し関係機関からプッシュ型で提供される情報）
下段細字：常時、地図上での色表示などにより状況が提供されている情報（市町村が自ら確認する必要がある情報）

- ① 左：警戒レベル○ ≠ 右：防災気象情報(警戒レベル○相当)
- ② 大雨警報(土砂災害) ⇒ 記載あり(警戒レベル3が発令される場合がある)
大雨警報(浸水害) ⇒ 記載なし(警戒レベルは発令されない)
テレビでは、どちらも「大雨警報」としか報道されていない！

防災気象情報とは

住民が主体的に避難行動を判断するための参考となる「状況情報」

国や都道府県等は、注意報、警報、特別警報、土砂災害警戒情報、指定河川洪水予報等、様々な防災気象情報を段階的に発表し、大雨や暴風等とそれにより引き起こされる災害への警戒を呼びかけています。防災気象情報には、市町村の避難情報の発令判断を支援する役割と、住民が主体的に避難行動をとるための参考となる「状況情報」の役割があります。大雨等の際には、市町村からの避難情報の発令に留意するとともに、避難情報が発令されていなくとも、防災気象情報等を用いて自ら避難を判断し、適切な避難行動をとるよう心がけましょう。



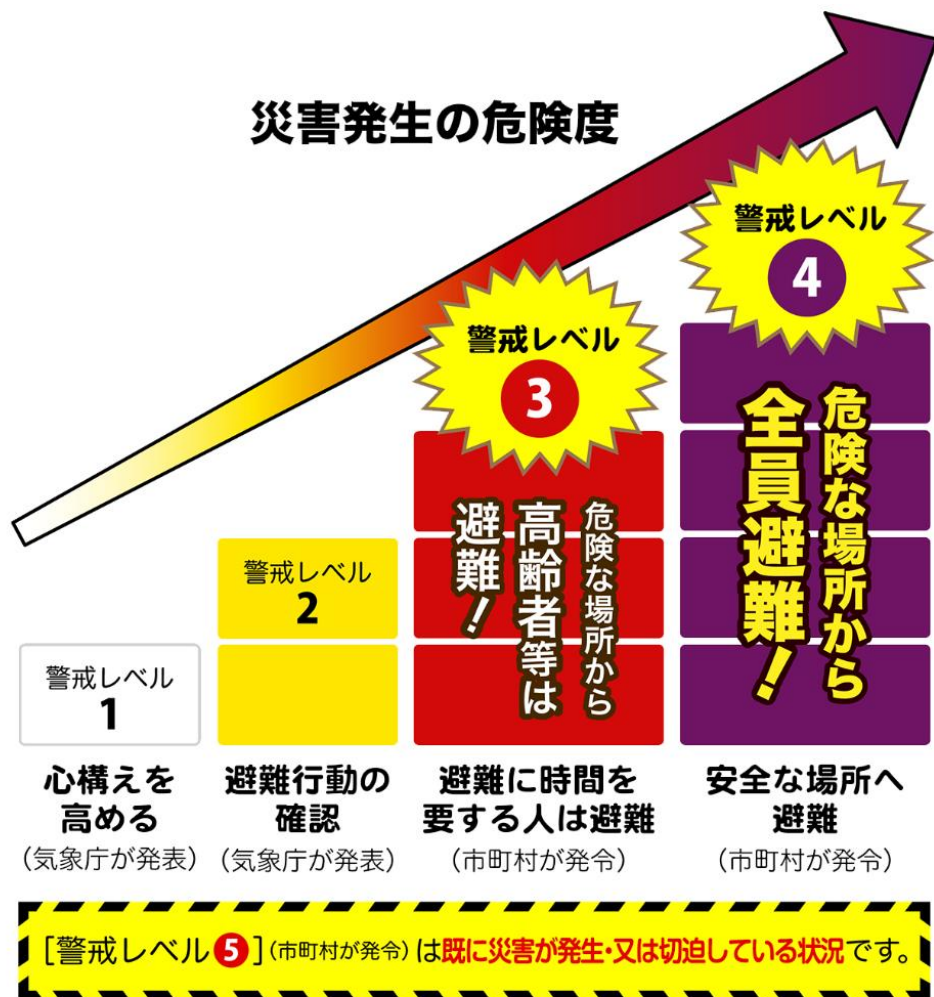
令和7年2月20日 追加

出典: 首相官邸HP



(図は気象庁資料より引用)

災害発生の危険度と、とるべき避難行動を、住民が直感的に理解するための情報



日本では毎年のように、大雨や台風などによる洪水や土砂災害、高潮などが発生し、多くの被害がでています。平成30年7月豪雨では200名を超える死者・行方不明者が発生するなど、各地で甚大な被害が発生しました。気象庁から注意報や警報、市町村から避難勧告や避難指示(緊急)※1など様々な情報が発信されましたが、受け手である住民に正しく理解されていたかなど、様々な課題がありました。

こうしたことを踏まえ、住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確に避難行動がとれるよう、避難情報や、防災気象情報等の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えしています。

令和7年2月20日 追加

出典: 首相官邸HP



避難情報に関するガイドライン」(内閣府(防災担当))では、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるという方針を踏まえ自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動を直感的に理解しやすくなるよう、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなっています。

自治体から警戒レベル4避難指示や警戒レベル3高齢者等避難が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難情報よりも先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4や高齢者等の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示等が発令されていなくてもキキクル(危険度分布)や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。

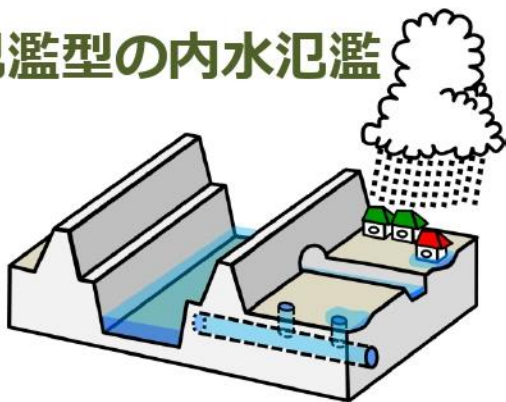
令和7年2月20日 追加

出典: 首相官邸HP



大雨警報(浸水害)・洪水警報が対象とする災害

氾濫型の内水氾濫



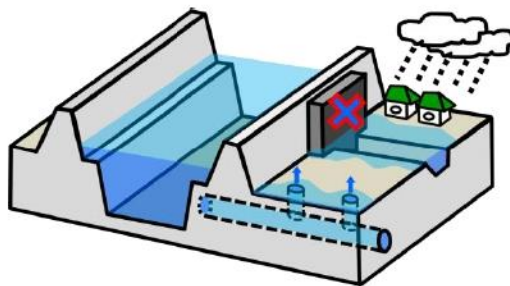
- ✓ 短時間強雨等により雨水の排水能力が追いつかず、発生する浸水。
- ✓ 河川周辺地域とは異なる場所でも発生する。

河川の増水によらない



大雨警報(浸水害)の対象

湛水型の内水氾濫



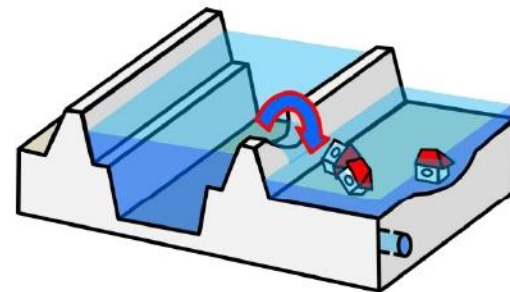
- ✓ 河川周辺の雨水が河川の水位が高くなったため排水できずに発生。
- ✓ 発生地域は堤防の高い河川の周辺に限定される。

河川の増水に起因



洪水警報の対象

外水氾濫

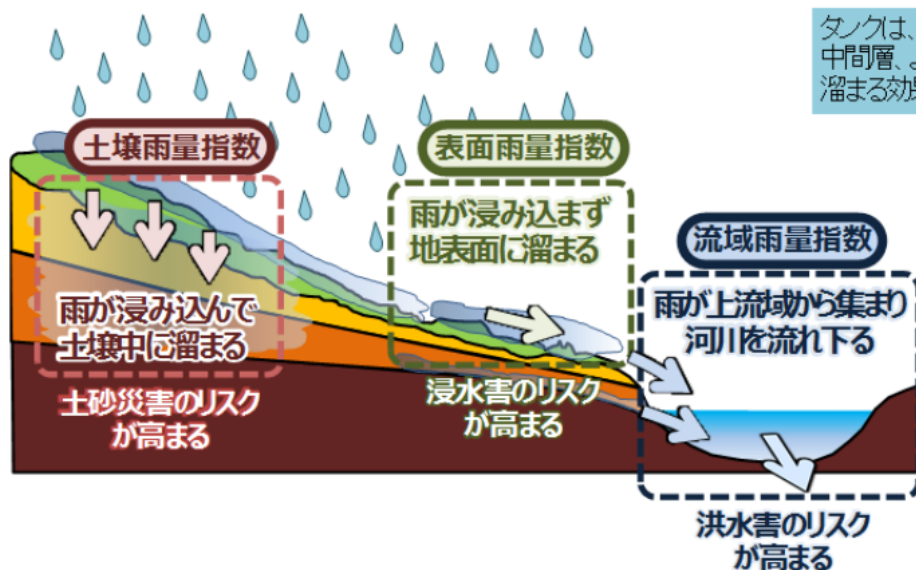


- ✓ 河川の水位が上昇し、堤防を越えたり破堤するなどして堤防から水があふれ出す。

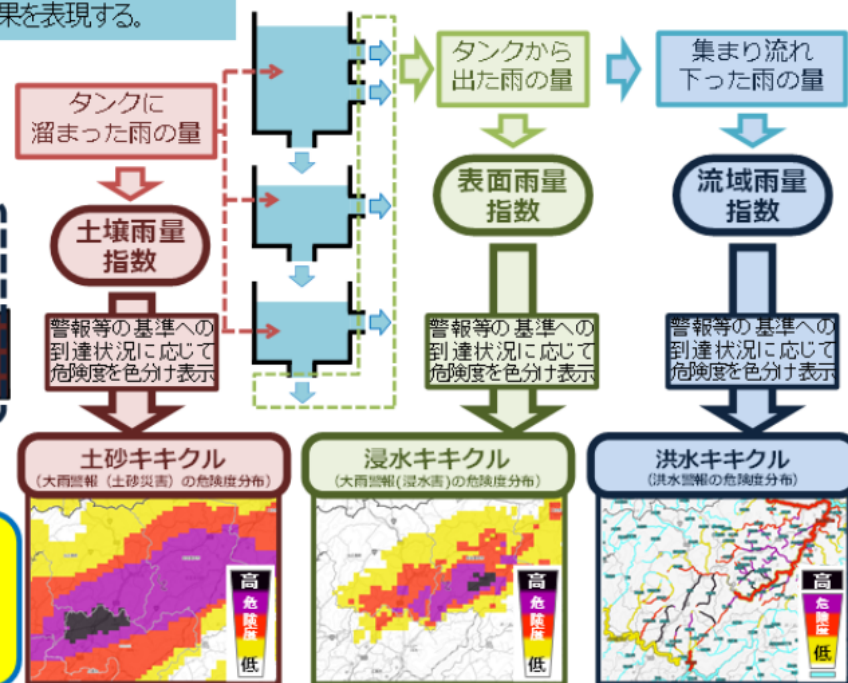
雨によって引き起こされる災害発生の危険度の高まりを評価する技術
 土壌雨量指数・表面雨量指数・流域雨量指数と危険度分布

雨によって
災害のリスクが高まるメカニズムは
 以下の3つが考えられる。

左のメカニズムを“**タンクモデル**”で表現し
 各々の災害リスクの高まりを“**指数**”化し
 警報等の“**基準**”への到達状況に応じて色分け表示。



タンクは、地表面や地中の表層、中間層、より深い層を表し、雨が溜まる効果を表現する。



3つの“**指数**”と警報等の“**基準**”を用いて、
雨によって引き起こされる災害の危険度の高まりを
 評価・判断し、危険度分布の予測を提供。

次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

避難とは、『**難**』を『**避**』けること
です。

- **安全な場所にいる人は**
避難場所に行く必要はありません。
(⇒ ハザードマップで自宅の特性を把握)
- **行政が指定した避難場所に**
行くことだけが避難ではありません。
(⇒ **分散避難**)

避難行動のあり方

分散避難

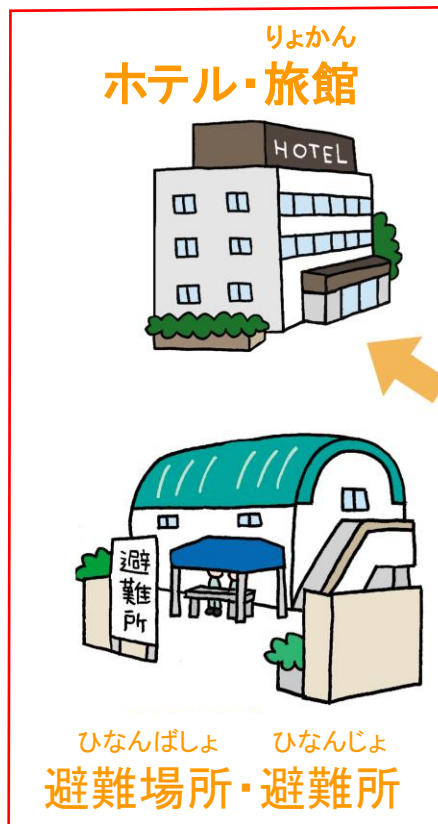
ざいたくひなん

在宅避難

おくないあんぜんかくほ
(屋内安全確保)

すいちよくひなん

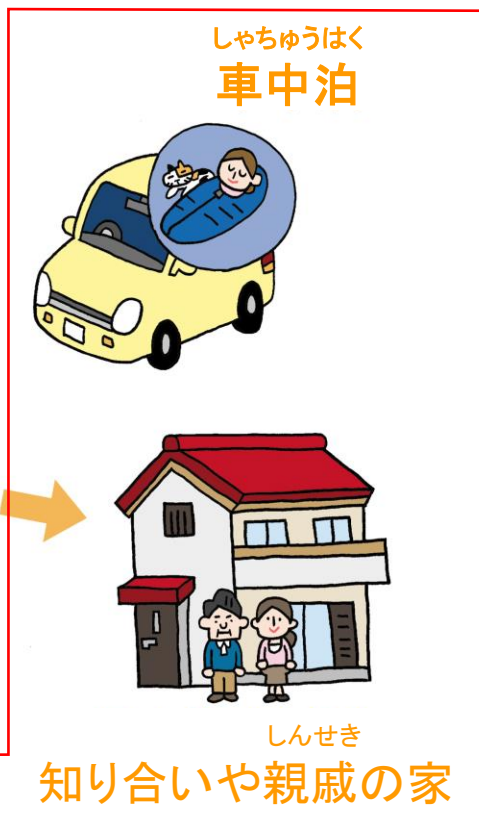
2階へ行く: 垂直避難



たちのきひなん

すいへいひなん

立退避難 (水平避難)



じたく

あんぜん

○自宅が安全なら、

ざいたく ひなん

⇒「在宅避難」

に

ひつよう

外に逃げる必要はありません。

たちのき ひなん

⇒「立退避難」

在宅避難の特徴

令和7年2月20日 追加
作成 大竹市危機管理課

良い点：自宅で生活できる。

- ⇒ 小さなお子さんや高齢者が生活しやすくなります。
- ⇒ ペットとともに生活できます。
- ⇒ 「火事場泥棒」から財産を守れます。
- ⇒ 避難先に備蓄品を運搬する手間が不要です。

条件

現在、大手メーカーの新築は
戸建・賃貸とも、2000年基準分類3

- **強い耐震基準の家**
2000年基準分類3など、強い耐震能力の家に住む
- **津波・土砂**
自宅を破壊する津波や土砂災害の恐れのない場所
- **備蓄の確保**
電気・ガス・水道の停止に備えた十分な備蓄

安全な場所とは

じしん
地震



がんじょう

頑丈な家・建物



つなみ
津波



来ないところ
高いところ

こうずい
洪水



ハザードマップで
色のついてない
ところ

洪水が来ても
家にいられる場合

どしゃ
土砂



ハザードマップで
色のついてないところ



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると…)



流速が速いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります



地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

- ② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

- ③ 水がひくまで我慢でき、
水・食糧などの備えが十分
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の
使用ができなくなるおそれがあります



避難行動のあり方

避難行動の解説

大竹市作成資料

警戒レベル (避難情報)	避難区分	適用区分				適用外
		土砂	洪水	高潮	津波	
		警戒 区域	浸水 区域	浸水 区域	浸水 区域	
レベル5 (緊急安全確保)	緊急安全確保	△	△	△	△	内水 氾濫
-----レベル4の間に必ず避難を完了する-----						対象外 発令基準 未確定 ↓ 避難情報 発令なし
(高齢者等 避難) レベル3	(避難指示) レベル4	屋内安全確保	×	○ ※条件付	○ ※条件付	△
		立退き避難	○	○	○	○

凡例 ○: 望ましい行動

△: 状況により避難者自身が判断

×: 危険・避けるべき行動

※ 条件付: 後述する「3つの条件」が必要

土砂災害

(赤色) 特別警戒区域

(黄色) 警戒区域

どちらも立退き避難が必要

3 避難行動のあり方

洪水・高潮災害時、 屋内安全確保をするための条件



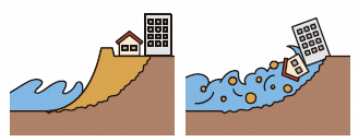
「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

(入っていると…)



流速が速いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります



地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、 水・食糧などの備えが十分

(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

①家屋倒壊等氾濫想定区域 ③浸水継続時間	国交省ハザードマップで確認可能 ⇒ 後で実例表示
-------------------------	-----------------------------

①

家屋倒壊等氾濫想定区域

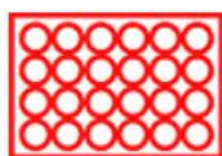
出典：国交省国土地理院
(重ねるハザードマップ)

家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸浸食



氾濫流



家屋の流失・倒壊の恐れ

大竹市内：小瀬川・弥栄ダム下流のみ設定
家屋の流出・倒壊⇒× 屋内安全確保
○ 立退き避難

スマホで確認⇒



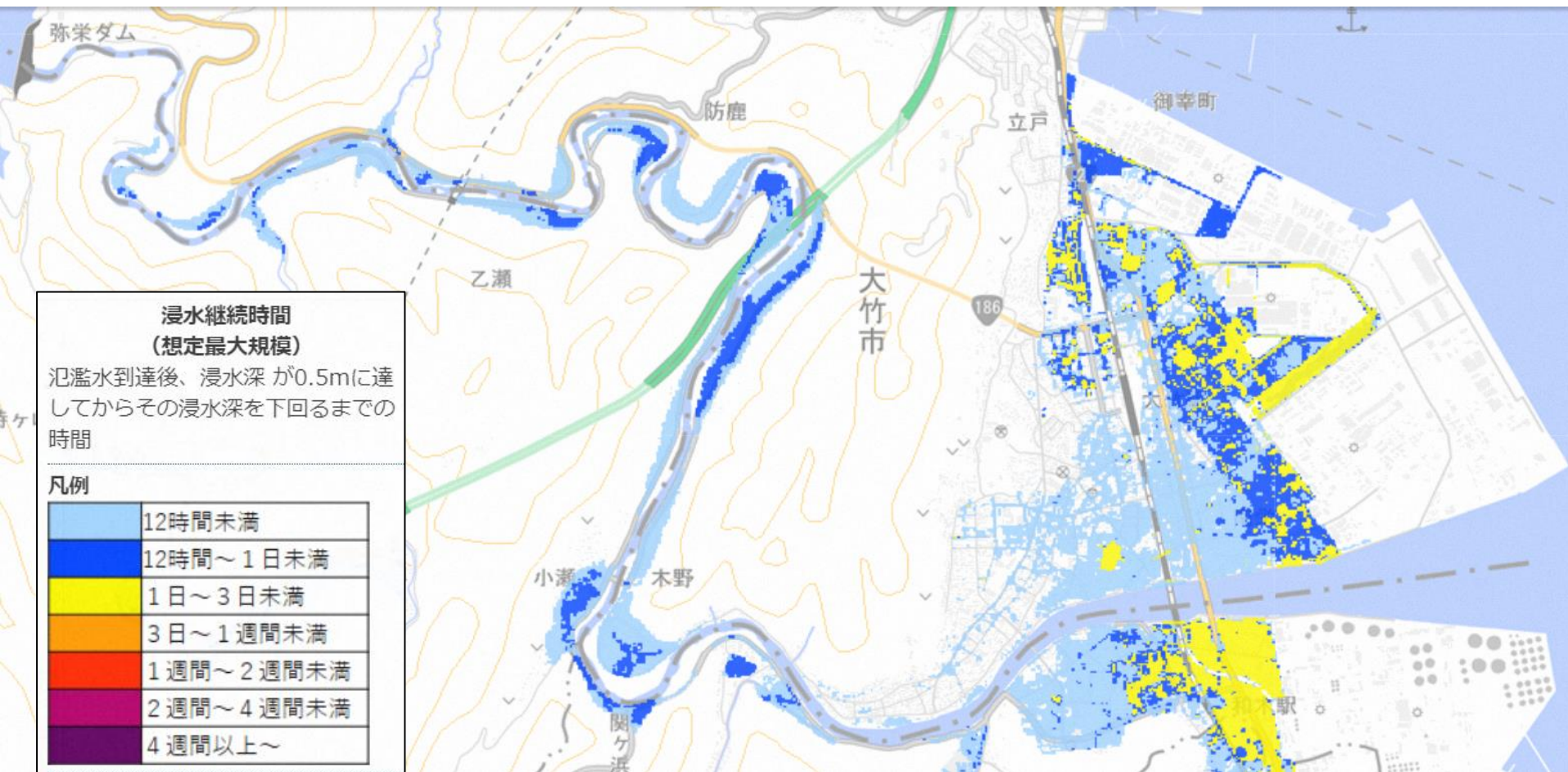
② 浸水深 (洪水)



スマホで確認⇒



③ 浸水継続時間

出典:国交省国土地理院
(重ねるハザードマップ)

大竹市内一部: 1日以上(黄色区域)

屋内安全確保: 浸水継続時間以上の備蓄品が必要

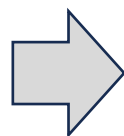
スマホで確認⇒





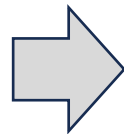
津波避難の三原則

1 想定にとらわれるな



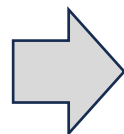
ハザードマップ通りの
津波はない
想定より早く来るかも

2 最善をつくせ



より高く、より遠くへ逃げろ
建物より高台を目指せ

3 率先避難者たれ

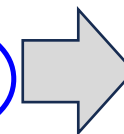


あなたの避難行動が
周りを感化する
基本は津波てんでんこ

出展: 群馬大学大学院 片田敏孝教授(釜石の出来事)

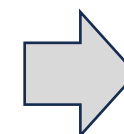
東日本大震災の教訓

1 原則・徒歩避難(車危険)



名取市・閑上(ゆりあげ)地区
(車渋滞中に津波襲来)

2 津波は川を遡上する
(川からも離れよ)



石巻市・大川小学校
(河口上流5kmに津波襲来)

收集整理: 大竹市危機管理課

ハザードマップ 津波

つなみ しんすい そうてい くいき つなみ

令和7年2月20日 追加
作成 大竹市危機管理課

凡例

35

	20m ~
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	0.5m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	~ 0.5m
	~ 0.3m

津波浸水想定区域（津波が来るところ）

津波の予想は誤差が大
実際は来てみないとわかりません。

しかし見えてからでは遅いので
○海に近い平野部
○大きな川の周辺の方は
津波が来るつもりで
○高いところへ逃げてください。

建物への避難では、
×夜間入れないかもしれません。
×津波が高いと逃げ場を失います。

げんそく たちのきひなん
原則、すべて立退避難
きけん
木造の家は危険大

津波は川を
遡上する。



出典：国交省国土地理院
（重ねるハザードマップ）

スマホで確認



次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

ライフライン復旧までの日数(web情報からの抽出)

復旧日数: 9割以上(概ね)復旧までの日数

令和7年2月20日 追加
作成 大竹市危機管理課

区分	災害		復旧日数			
	年	名称	電気	水道	LPガス	都市ガス
地震 震度7	1995	阪神淡路 大震災	1週間	3ヶ月		3ヶ月
	2011	東日本 大震災	1週間	4ヶ月	1ヶ月	2ヶ月
	2016	熊本地震	1週間	1週間	自動遮断 のみ発生 供給途絶なし	2週間
	2018	北海道 胆振地震	2日	3日	被害なし	
風水害	2018	平成30年 7月豪雨 (西日本豪雨)	1週間	3週間	5日	

大竹市 ガス:LP⇒復旧早い(マイコンメータの復旧必要)
水道:古い配管の破損⇒大規模断水の可能性

備蓄目標日数

従来 最低3日 できれば1週間
今後 最低1週間 目標2週間が望ましい

行政が準備できる備蓄品には**限界**があります。

自分の命を自分で守るために、**備蓄品は、自分で用意**しましょう。

令和7年2月20日 追加
作成 大竹市危機管理課

目標日数	従来の考え方	大規模災害	広範囲に影響する大規模災害
災害	局地的な災害	阪神淡路大震災 東日本大震災・熊本地震 平成30年7月豪雨 令和6年能登半島地震 五日市岩国断層帯地震 安芸灘断層群地震 南海トラフ巨大地震 (半割れの場合)	南海トラフ巨大地震 (東西が同時期に発災した場合)
発災0日			
3日	備蓄3日分		
1週間	応援物資供給体制	備蓄 1週間分	
2週間		実際は 3日以上	応援物資供給体制 備蓄 2週間分
		応援物資供給体制 物流が飽和し長時間を要するとの指摘あり	応援物資供給体制

備蓄の優先順位



トイレ

1日 5回以上

水

飲料水 1日 3L

＋生活水1日 2～6L(個人差大)

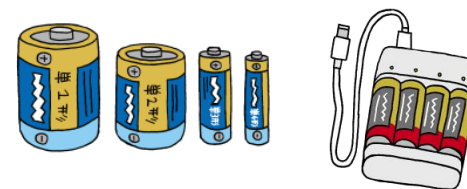
食料

1日 3食

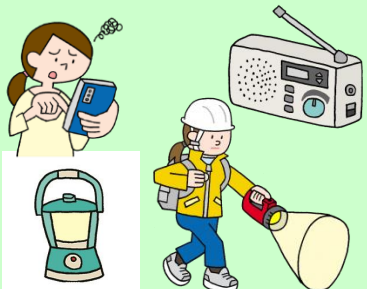
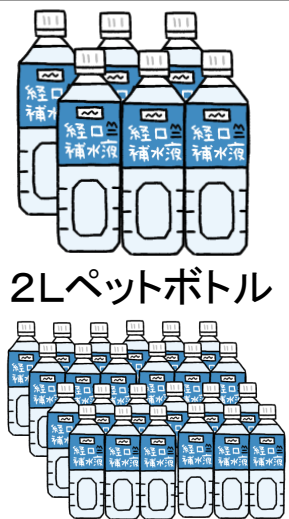
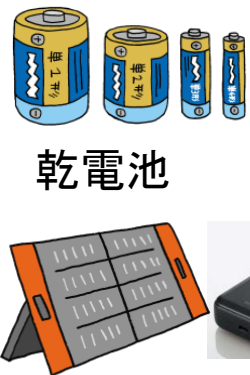
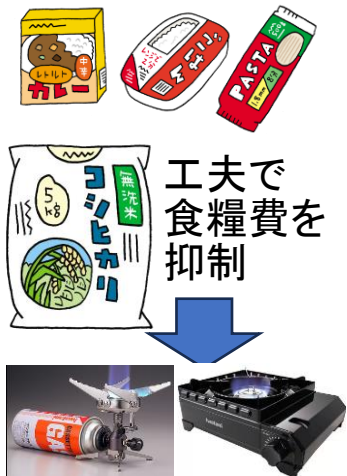
無いと困るもの

あった方が
よいもの

電力
その他
人により
必要な物



目標日数に応じた備蓄量(1人分の場合)

品目	トイレ	水(飲料水)	食料	電力
基準	1日 5回	1日 3L	1日 3食	使用する 機器による
3日	15回分	9L	9食	
1週間	35回分	21L	21食	
2週間	70回分	42L	42食	
	 凝固剤付き トイレ	 2Lペットボトル 500mlペットボトル		 乾電池 ソーラー パネル
			 工夫で 食糧費を 抑制 バーナー/コンロ ぜひ準備を！	 モバイル バッテリー …など

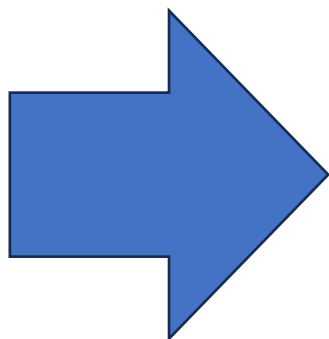
ローリングストック



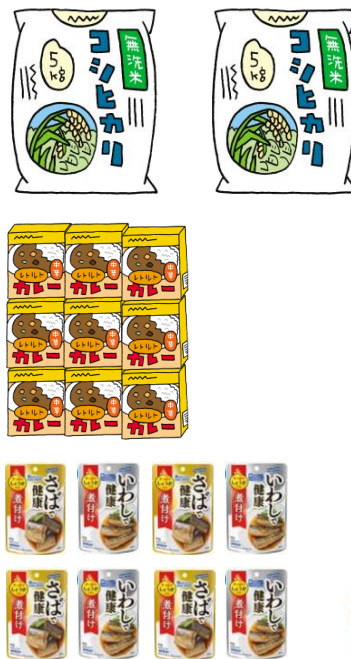
「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

災害用食料
アルファ化米
は高価！

1食400円



普段使いの食料
多めに購入



ローリング
ストックで
低コスト



非常時のトイレについて

	① 	② 	③ 	④ 	⑤ 
方法	生活用水 利用による	非常用トイレ (凝固剤利用)		仮設 トイレ	マンホール トイレ
	普通の トイレ	普通の トイレ	特設 トイレ		
長所	既存の トイレが 使用可能	既存の トイレが 使用可能	設置 が容易	設置 が容易	既存の 下水道が 利用可能
短所	大量の水 が必要 (1回4～5L)	やや高価 1人10日(50回) 分で約5000円	椅子 の購入 が必要	大量調達 に時間 がかかる	改修工事が必要 (大竹市未対応)
	(地震等) 下水道破損時 使用不可	発災後入手困難(備蓄必須) ゴミ回収まで保管 異臭対策必須(BOS袋推奨)		異臭大 (汲取式)	(地震等) 下水道破損時 使用不可
個人への 適応度	×	◎	○	△	×



必要な水の量



いんりょうすい

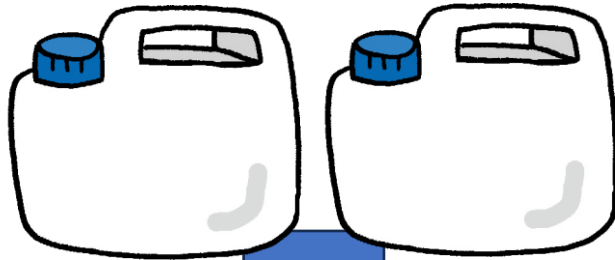
飲料水

せいかつようすい

生活用水

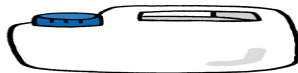
ふつうの生活

1人1日 20~80L

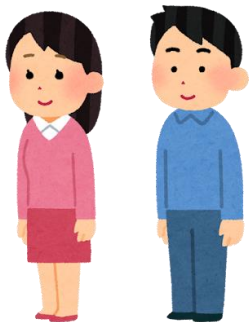


災害時の生活

1人1日 2~6L



工夫で水を節約



大人

1日



3L

3日



9L



子供



1.5L



4.5L

水の確保について

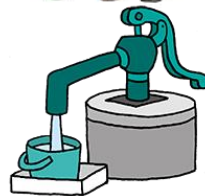
飲料水(飲める)



一般に言われる
 最低3日分 9リッター(3 L/日)
 理想1週間 21リッター
 ~ 2週間 42リッター
 とはこの部分です。



3日程度
 給水所の
 配給水
 (飲める)



井戸水の活用



風呂に
 ためた水

水洗トイレ
 4~5 L/回
 必要



シャワー
 の代用



飲料以外に
 生活には多くの水が必要です。
 工夫すればより多くの水確保と
 節水ができます。

湯煎調理
 で古い水を活用

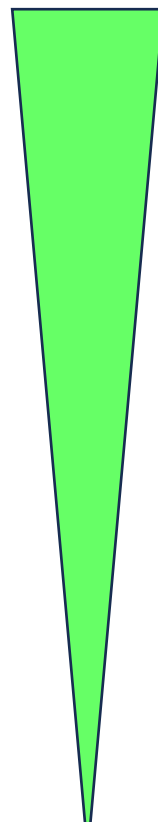
古くなったら
 生活用水に活用



生活用水(飲めない)

避難に必要な準備

死ぬ
危険性



	学校・出かけ先	自分の家	避難先
命を守る	①死なない 	②死なない 	
安全な 場所 へ行く	③家に帰るルート 	④出口までのルート 	とちゅう ⑤途中のルート
避難生活 をする		ざいたくひなん ⑥在宅避難 	たちのきひなん ⑦立退避難

出典：防災セットの基本！防災リュック・非常持出袋の種類と考え方
[そなえるTV・高荷智也]

<https://www.youtube.com/watch?v=gzali0yAaY4>

売られている

ひなん

「避難リュック」の中身



次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

きんきゅうひなんばしょ

ひなんじょ

緊急避難場所と避難所の違い



きんきゅう
緊急
ひなんばしょ
避難場所

- 災害が発生し、地域全体が危険になったときに避難する場所で、**災害がおさまるまで一時的に待つ場所**です。
- 基本的には**食料や水の備えはありません**。
- 一般的には、**大規模な公園や緑地、大学**などが指定されています。
- 大竹市**は、優先的に使用される**第1次～第3次避難場所**に**屋根付きの建物**を指定



ひなんじょ
避難所

- 地震などにより家屋の倒壊や焼失などで被害を受けた方、または現に被害を受ける恐れがある方が、**一定の期間避難生活**をする場所です。
- 飲料水やトイレ**などを備えています。
- 一般的には、**小中学校や公民館などの公共施設**が指定されています。
- 大竹市も同様**です。

緊急避難場所



避難所

市の管理する
緊急避難場所

他機関及び地域
で管理する
避難場所

令和6年度
5月版 大竹市緊急避難場所・指定避難所一覧

自主避難について

大竹市に台風が接近してたり警報が発表されていても、状況によっては市の避難情報が発表されていない場合があります。この場合、市の避難場所が開設されていませんが、自主的に避難先を指定する方は、「大竹市総合市民会館」（開設時刻のみ）または「大竹市役所」（24時間）が受け入れ先となります。事前に危機管理課へ連絡し、受け入れについて確認してください。（☎59-2111）

避難場所とは、災害の危険を避けるために「一時的」に避難する施設です。
市が職員を配置して状況に応じて開設・閉鎖するものを「第1次」から「第3次」とします。

開設場所は随時変更

【市が管理する緊急指定避難場所】

◆第1次避難場所（市災害対策本部設置）

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	大竹市総合市民会館 3階ベトナム館	53-6677	○	○	2階以上	○	2階以上
2	アゼリアおたけ（大竹会館） 3階ベトナム館	52-4331	○	○	2階以上	○	2階以上
3	大竹市役所【小方支部】	59-2111	○	○	○	○	○
4	秋波小学校（校舎内）【秋波支部】	57-3101	○	○	○	○	○
5	阿多田通利センター【阿多田支部】	53-7174	○	2階以上	○	○	×

3階ベトナム館はゲージに入れ、飲食物や薬品を持ち、避難所は市役所ベトナム館に避難してください。

第1次避難場所

第2次避難場所

◆第2次避難場所（災害の状況や規模に応じて順次開設）

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	木野山会館【木野山支部】	—	○	○	×	○	○
2	松ヶ原会館【松ヶ原支部】	57-4808	○	○	○	○	○
3	養老山会館【養老山支部】	56-0301	○	○	2階以上	○	○
4	大竹小学校（校舎内）	—	○	○	2階以上	○	2階以上
5	サントピア大竹 【大竹市総合市民会館】	53-8120	○	○	2階以上	○	2階以上
6	栄会館	53-6688	○	○	2階以上	×	2階以上
7	小方小学校 【小方小学校校舎内】	—	○	○	○	○	○
8	秋波公民館	57-7084	○	2階以上	○	×	2階以上
9	秋波中学校（校舎内）	—	○	○	○	○	○

【表の見方】○：避難できます。×：該当する災害では避難できません。2階以上：避難できますが2階以上に滞在してください。

◆第3次避難場所（巨大地震のような大規模災害発生時のみ開設）

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	大竹中学校体育館	—	○	○	2階以上	○	2階以上
2	おがたビヤ（地域福祉会館）	59-0707	○	○	2階以上	○	○
3	田本町体育館	—	○	○	2階以上	○	2階以上
4	大竹体育館	52-2268	○	○	2階以上	○	○
5	田立戸体育館	53-6585	×	○	○	○	○
6	田なかま体育館	57-3355	×	○	○	○	○
7	東谷小学校体育館	—	○	○	2階以上	○	○
8	旧東谷中学校体育館	—	○	○	○	○	○
9	コミュニティサロン元町	53-7774	○	○	○	○	○
10	コミュニティサロン秋波	57-1128	○	○	○	○	○

【地域や他機関で管理する避難場所】

消防機関や自治会等地域の判断または市の要請で開設され、原則、市の職員は配置されません。

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	大竹高等学校	52-4325	×	○	○	○	○
2	コミュニティサロン須賀	53-7280	○	○	×	○	×
3	秋波ダム管理所	57-3135	○	○	○	○	○
4	秀英館 若竹	—	○	○	2階以上	○	○
5	阿多田通利センター組合	53-7171	○	2階以上	○	×	×
6	元町4丁目集会所	—	○	○	2階以上	○	○
7	油屋会館	52-4857	○	○	2階以上	×	2階以上
8	木野2丁目集会所	—	○	○	×	○	○
9	立戸集会所	—	○	○	2階以上	○	2階以上
10	御園台自治会館	53-7280	○	○	○	○	○
11	三ツ石会館	—	×	○	○	○	○
12	黒川会館	—	○	○	2階以上	○	○
13	後藤寺公民館	—	×	○	○	○	○
14	岩崎寺公民館	—	×	○	×	○	○
15	新藤集会所	—	○	○	×	○	○
16	旧阿多田小学校体育館	—	×	○	○	○	○
17	海の家あした	53-7865	×	○	○	○	○
18	秋波6丁目集会所	—	○	○	○	○	○
19	後藤集会所	—	×	○	×	○	○
20	谷沢集会所	—	×	○	○	○	○
21	広原公民館	—	×	○	○	○	○
22	岩崎集会所	—	×	○	○	○	○

別添資料参照

6	徳仁源水産の広場	徳仁源3033-1	×	○	×	○	○
7	阿多田防災コミュニティ グラウンド	阿多田88-1	×	○	○	○	○
8	秋波小学校グラウンド	秋波7-1-1	○	○	○	○	○
9	秋波中学校グラウンド	秋波4-12-1	○	○	○	○	○
10	東谷小学校グラウンド	東谷町小東林 590	○	○	×	○	○
11	旧東谷中学校グラウンド	東谷町小東林 901	○	○	×	○	○

② 数分以内に登録用URLが記載された返信メールが届くのでURLにアクセスし、案内に従って登録を完了させてください。

③ 登録について不明な点等は、危機管理課へ連絡してください。

※ QRコードの読み取りができない場合は、kaiwai-stake-city@raidai.kaiwai.jp宛に
登録メールを送信し、手順2から進めてください。

※ 登録メール送信などの理由で、パソコンから返信されたメールを受信拒否にしたり、
特定のアドレスからのみ受信できるようにしている場合、登録確認メールが届きません。
「kaiwai-stake-city@raidai.kaiwai.jp」から届くメールを受信可能に設定してから、操作してください。（メール拒否コード）

開設・運営：市職員が実施

【市が管理する緊急指定避難場所】

◆第1次避難場所（市災害対策本部設置と同時に開設）

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	大竹市総合市民会館 ※ペット同行可	53-6677	○	○	2階以上	○	2階以上
2	アゼリアおおたけ（大竹会館） 【大竹支部】 ※ペット同行可	52-4331	○	○	2階以上	○	2階以上
3	大竹市役所【小方支部】	59-2111	○	○	○	○	○
4	玖波小学校（校舎内）【玖波支部】	57-3101	○	○	○	○	○
5	阿多田漁村センター【阿多田支部】	53-7174	○	2階以上	○	○	×

※ペットはケージに入れ、飲食物や薬を持参し、健康管理やしつけがされ、飼い主が世話すること等が条件です。
詳しくは市ホームページ「ペットを運れた避難について」をご覧ください。

◆第2次避難場所（災害の状況や規模に応じて順次開設）

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	木野集会所【木野川手支部】	—	○	○	×	○	○
2	松ヶ原集会所【松ヶ原支部】	57-4808	○	○	○	○	○
3	農林振興センター【栗谷支部】	56-0301	○	○	2階以上	○	○
4	大竹小学校（校舎内）	—	○	○	2階以上	○	2階以上
5	サントピア大竹 （大竹市総合福祉センター）	53-8120	○	○	2階以上	○	2階以上
6	栄公民館	53-6688	○	○	2階以上	×	2階以上
7	小方小学校 小方中学校（小方学園校舎内）	—	○	○	○	○	○
8	玖波公民館	57-7084	○	2階以上	○	×	2階以上
9	玖波中学校（校舎内）	—	○	○	○	○	○

【表の見方】『○』：避難できます。『×』：該当する災害では避難できません。
『2階以上』：避難できますが施設の2階以上に滞在してください。

※下線付は昨年度から
変更した部分です。

開設のタイミング

自主避難者対応（警戒レベル2以上）

⇒市役所（24時間）

総合市民会館（開館時間のみ）

避難場所開設開始（警戒レベル3）

⇒対象施設

（通常）

第1次避難場所優先

状況により第2次を開設

※ 必要な地区のみに限定

【表の見方】

○：安全に避難できます。

×：避難所として開設しません。

2階以上：2階より上へ避難してください

ペット同伴対応

総合市民会館・大竹会館

他機関及び地域で管理する避難場所

【地域や他機関で管理する避難場所】

※他機関や自治会等地域の判断または市の要請で開設され、原則、市の職員は配置されません。

市職員：配置なし

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	大竹高等学校	52-4325	×	○	○	○	○
2	コミュニティサロン栄町	53-7280	○	○	×	○	×
3	弥栄ダム管理所	57-3135	○	○	○	○	○
4	秀東館 若竹	—	○	○	2階以上	○	○
5	阿多田島漁業協同組合	53-7171	○	2階以上	○	×	×
6	元町4丁目集会所	—	○	○	2階以上	○	○
7	油見会館	52-4857	○	○	2階以上	×	2階以上
8	木野二丁目集会所	—	○	○	×	○	○
9	立戸集会所	—	○	○	2階以上	○	2階以上
10	御園台自治会館	53-7280	○	○	○	○	○
11	三ツ石会館	—	×	○	○	○	○
12	黒川会館	—	○	○	2階以上	○	○
13	後飯谷公民館	—	×	○	○	○	○
14	前飯谷公民館	—	×	○	×	○	○
15	防鹿集会所	—	○	○	×	○	○
16	旧阿多田小学校体育館	—	×	○	○	○	○
17	海の家あたた	53-7855	×	○	○	○	○
18	玖波8丁目集会所	—	○	○	○	○	○
19	後原集会所	—	×	○	×	○	○
20	谷尻集会所	—	×	○	○	○	○
21	広原公民館	—	×	○	○	○	○
22	谷和集会所	—	×	○	○	○	○

避難途中で津波や洪水などの浸水が目前に迫った場合に緊急一時的に退避するための施設で、地震や土砂災害の際の滞在先として使用するものではありません。

番号	名 称	電話番号	対応災害				
			土砂	高潮	洪水	地震	津波
1	ゆめタウン大竹	57-8000	—	○	○	—	○
2	大竹市第2期工業用水道管理棟	—	×	○	2階以上	—	○
3	サンホテル大竹	52-8810	—	○	2階以上	—	2階以上

集中待機会場施設

避難場所として指定された区内外の各施設が事前に決まった順に順次開設するものと見られ、指定された避難場所の開設ととも、避難所となる施設も開設するものと見られる。

施設名	住所	区外	区外	区外	区外
1 中央市民センター	5-7-7000	○	○	○	○
2 区民センター	5-8-2828	○	○	○	○
3 コーポの森	5-9-1555	○	○	○	○

避難所

施設名	住所	区外	区外	区外	区外
1 中央市民センター	5-7-7000	○	○	○	○
2 区民センター	5-8-2828	○	○	○	○
3 コーポの森	5-9-1555	○	○	○	○

公民館・自治会館

避難所として指定された区内外の各施設が事前に決まった順に順次開設するものと見られ、指定された避難場所の開設ととも、避難所となる施設も開設するものと見られる。

施設名	住所	区外	区外	区外	区外
1 中央市民センター	5-7-7000	○	○	○	○
2 区民センター	5-8-2828	○	○	○	○
3 コーポの森	5-9-1555	○	○	○	○

避難所

施設名	住所	区外	区外	区外	区外
1 中央市民センター	5-7-7000	○	○	○	○
2 区民センター	5-8-2828	○	○	○	○
3 コーポの森	5-9-1555	○	○	○	○

公民館・自治会館

避難所として指定された区内外の各施設が事前に決まった順に順次開設するものと見られ、指定された避難場所の開設ととも、避難所となる施設も開設するものと見られる。

施設名	住所	区外	区外	区外	区外
1 中央市民センター	5-7-7000	○	○	○	○
2 区民センター	5-8-2828	○	○	○	○
3 コーポの森	5-9-1555	○	○	○	○

避難所

施設名	住所	区外	区外	区外	区外
1 中央市民センター	5-7-7000	○	○	○	○
2 区民センター	5-8-2828	○	○	○	○
3 コーポの森	5-9-1555	○	○	○	○

避難情報

避難所情報

避難所情報を選択します。

Select Language

文字サイズの変更

標準

大

特大

地震・津波

交通・ライフライン

防災リンク

防災ポータル

高潮・津波災害ポータル

ため池ポータル

危機管理型水位計

『広島県「みんがく」ポータルサイト』

ホームページの作成はコチラ

防災情報メール通知サービス

ハザードマップ

Safety Tips

平時の避難所情報はコチラ

トップページ > 避難情報 > 避難所情報

避難情報

避難所情報

避難所・避難場所検索

平時の避難所を検索できます。

[避難所・避難場所検索](#)

避難所・避難場所開設状況一覧

2023年03月22日 10時56分時点の開設状況の一覧

市町:

空いている

やや混雑

混雑

満

各避難(場)所の対象災害・住所(地図)・**開設状況・混雑状況**を確認することができます。
開設している避難(場)所は、黄色で強調して表示されます。

避難所・避難場所名	開設状況	混雑状況	土砂	高潮	洪水	地震	津波	地図・設備等 ※	住所
広瀬小学校	開設中	空いている	○	○	○	○		地図	広島市中区広瀬町2-8
中島小学校	開設中	やや混雑	○	○	○	○		地図	広島市中区加古町10-8
千田小学校	開設中	混雑	○	○	○	○		地図	広島市中区東千田町二丁目1-34
竹屋小学校	開設中	満	○	○	○	○		地図	広島市中区鶴見町8-49
広島県立文化芸術ホール (近隣地区からの車中避難用) ジ・アウトレット 広島南駐車場内立体駐車場	閉鎖中	-						地図	広島市中区白鳥北町19-1
沼田老人いこいの家	閉鎖中	-	○	○	○			地図	広島市安佐南区伴東七丁目6 4 - 8
石内北学区集会所	閉鎖中	-	○	○	○			地図	広島市佐伯区石内北一丁目5-33
袋町小学校(袋町児童館)	閉鎖中	-	○	○	○	○		地図	広島市中区袋町6 26



スマートホンの場合

広島県防災Web Select Language

2020年4月13日14時50分

避難情報 気象情報 避難所 地震情報 津波警報

10分雨量 60分雨量 累加雨量 水位情報 潮位情報

土砂災害警戒情報 土砂災害危険度情報(地区)

土砂災害危険度情報(メッシュ)

災害・防災情報 [大きな地図>](#)

防災Webの情報をスマートフォンでも確認することができます。

20 km 1/900000 | 地図情報提供：国土地理院

広島市 ▼

呉市 ▼

竹原市 ▼

防災Webスマートフォンページ

広島県防災Web

■[緊急ニュース](#)

■[お知らせ](#)

■[避難所開設情報](#)

■[避難情報](#)

■[防災気象情報](#)

■[観測情報](#)

■[交通運行状況](#)

■[防災情報メール通知サービス](#)

■[ご意見はコチラ](#)

■[免責事項](#)

[広島県トップページへ](#)

(C)Hiroshima Pref.
All Rights Reserved

防災Webの情報を携帯電話でも確認することができます。

防災Web携帯ページ

次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

大竹市が発表

警戒
レベル

避難情報

5

緊急
安全確保

4

避難指示

3

高齢者等
避難開始

大竹市は発表しない

自動 気象庁発表

2

大雨・洪水・高潮
注意報

1

早期警戒情報

大竹市

発表方法

①防災
行政無線
(戸別受信機)②災害情報
テレホン サービス③防災メール
大竹市公式LINE

④ホームページ

⑤
Lアラート⑤-1
緊急速報メール
エリアメール⑤-2
テレビ情報

市民

入手方法

聴
覚固定
電話携帯
電話スマ
ホパソ
コン地上波
テレビ

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

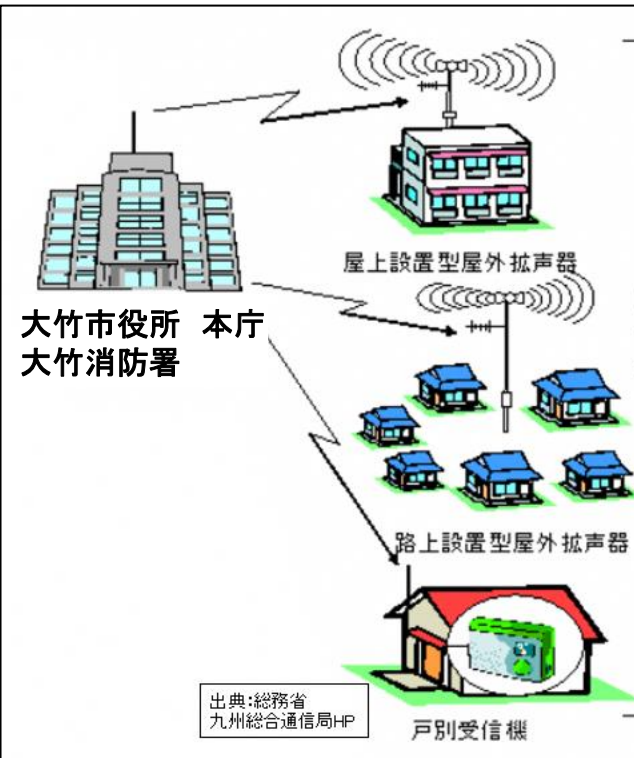
避難情報の入手方法

①防災行政無線

多数のスピーカーで市内を網羅

屋外にいる人が聞きとれるように設置
⇒室内では聞きとれない事がある
⇒他の手段との併用が必要

毎日夕方に(音楽)試験放送
18時(冬期17時)



市指定避難所

●災害情報テレホンサービス … 防災行政無線の放送内容を電話で聞けます 0120-590-131 (無料)

番号			
1	大竹市総合センター		
2	アゼリアおおたけ (大竹市総合センター)		
3	サントピア大竹 (大竹市総合福祉センター)	53-8120	11 玖波小学校 57-3101
4	阿多田漁村センター	53-7174	12 玖波中学校 57-7241
5	松ヶ原集会所	57-4808	13 栗谷小学校 56-0003
6	木野集会所・講堂	—	14 旧栗谷中学校体育館 —
7	大竹小学校	52-3177	※ 福祉避難施設 (ゆうあいホーム、紀の川、コリーナ小方)
8	大竹中学校	52-5177	

●災害時緊急電話 … 災害時に災害対策本部へ通報や連絡を行う緊急番号
0827-57-7120

●大竹市役所代表 … 夜間・休日などのお問い合わせ
0827-59-2111

●大竹市危機管理課 … 通常時の防災に関する相談・お問い合わせ
0827-59-2119

●災害情報テレホンサービス … 防災行政無線の放送内容を電話で聞けます
0120-590-131 (無料)

●防災情報ホームページ

防災行政無線の放送内容をホームページで確認できます

<http://otake-city.site.ktaiwork.jp/>



ホームページQRコード



緊急時
連絡先

大竹市防災情報メールの登録をしよう！

大竹市から防災情報等（災害発生情報、避難情報など）を、メールでお知らせします。

☛ 登録は簡単

① QRコードを読み取り、空メール（件名・本文不要）を送信。
※機種により送信できない場合は、件名・本文に任意の文字を入力して送信。

② 数分以内に登録用URLが記載された返信メールが届くのでURLにアクセスし、案内に従って登録を完了させてください。

③ 登録について不明な点等は、危機管理課へ連絡してください。

※ QRコードの読み取りができない場合は、bousai.otake-city@raidan.ktaiwork.jp 宛に空メールを送信した後、手順②から進めてください。

※迷惑メール防止などの理由で、パソコンから送信されたメールを受信拒否にしたり、特定のアドレスからのみ受信できるようにしている場合、登録確認メールが届きません。
「@raidan.ktaiwork.jp」から届くメールを受信可能に設定してから、操作してください。（メールQRコード）



・ 放送と同等の内容を簡略化
24時間体制で自動再生
(ただし最新の1種類のみ)

・ 6回線あるため（電話に比べ）混雑に強い

配信区分

必須
配信

① 防災情報

災害発生情報

避難に関する情報：高齢者等避難・避難指示 + 開設する避難場所

市災害対策本部設置情報等

災害時等の注意喚起 等

任意
選択

② 防犯・その他お知らせ情報

なりすまし詐欺などの防犯情報

野生動物（熊、いのししなど）の出没注意情報

行方不明者の搜索情報 等

⑤-1
緊急速報メール
エリアメール
で入手可能な情報

③ 気象情報

必須
配信

気象警報（特別警報含む）：大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪・波浪・高潮

土砂災害警戒情報・記録的短時間大雨情報・指定河川情報

津波警報（津波警報・大津波警報）

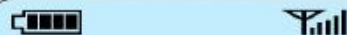
任意
選択

竜巻注意情報

震度情報：大竹市で震度4以上の地震

津波情報

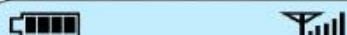
▽防災情報の例



Subject: 避難指示

大竹市災害対策本部からお知らせします。ただ今〇〇により〇〇時〇〇分〇〇地区に対して避難指示を発令しました。直ちに避難所等へ避難してください。

▽防犯・その他お知らせ情報の例



Subject: なりすまし詐欺

こちらは防災大竹市役所です。大竹警察署からなりすまし詐欺についてのお知らせです。息子を騙る者から不審な電話がかかってきています。騙されないください。

▽気象情報等の例



Subject: 気象情報

2015年07月01日 11時05分
発表
大雨警報が発表されました。
【大竹市】
大雨洪水警報

警戒レベル発令時の記載例

件名：警戒レベル3「高齢者等避難開始」

送信者：otake-city@raiden.ktaiwork.jp

本文：こちらは防災大竹市役所です。

〇〇のため、〇〇地区に対して、警戒レベル3高齢者等避難開始を発令します。〇〇地区にお住まいの高齢者等、避難に時間のかかる方は避難を開始してください。また、避難する際は必要な備蓄品等をもって避難しましょう。

開設する避難場所は〇〇地区の第1次及び第2次避難場所すべてです。

対象地区
を記載

開設する
避難場所を
記載

登録内容の変更・配信解除は次のリンク先にアクセスしてください。

[https://raiden.ktaiwork.jp/service/otake-](https://raiden.ktaiwork.jp/service/otake-city/register/update?aid=3309&uid=cfefc142479e1f36df05be17fdcf110d9ec7c277)

[city/register/update?aid=3309&uid=cfefc142479e1f36df05be17fdcf110d9ec7c277](https://raiden.ktaiwork.jp/service/otake-city/register/update?aid=3309&uid=cfefc142479e1f36df05be17fdcf110d9ec7c277)

件名：警戒レベル4「避難指示」

送信者：otake-city@raiden.ktaiwork.jp

本文：「緊急放送！ 緊急放送！ 警戒レベル4 避難指示」

こちらは、防災大竹市役所です。

〇〇のため、〇〇地区に対して、警戒レベル4避難指示を発令します。〇〇地区にお住まいの方は避難してください。また、避難する際は必要な備蓄品等をもって避難しましょう。

開設している避難場所は〇〇地区の第1次及び第2次避難場所すべてです。

対象地区
を記載

開設する
避難場所を
記載

登録内容の変更・配信解除は次のリンク先にアクセスしてください。

[https://raiden.ktaiwork.jp/service/otake-](https://raiden.ktaiwork.jp/service/otake-city/register/update?aid=3309&uid=cfefc142479e1f36df05be17fdcf110d9ec7c2)

[city/register/update?aid=3309&uid=cfefc142479e1f36df05be17fdcf110d9ec7c2](https://raiden.ktaiwork.jp/service/otake-city/register/update?aid=3309&uid=cfefc142479e1f36df05be17fdcf110d9ec7c2)

大竹市
Otake City

ホーム
▼

手続き
▼

教育・学び
▼

医療・福祉
▼

⇒ イベントを探す

⇒ 募集を探す

⇒ 施設を探す

⇒ 組織から探す

キーワード検索

現在の位置 [ホーム](#) > [組織から探す](#) > [総務部](#) > [企画財政課](#) > [業務案内](#) > [広報・広聴](#)
> 大竹市LINE公式アカウントを開設しました

大竹市LINE公式アカウントを開設しました

大竹市では、大竹市LINE公式アカウントを開設しました。友だち登録すると、大竹市のイベント情報やくらしの情報、防災情報などをいち早く入手することができます！

防災無線放送が聞こえにくい場合など、放送内容が速やかに確認できるので便利です。

大竹市 LINE
公式アカウント
始めました!

■ アカウント情報

アカウント名：広島県大竹市
LINE ID: @otakecity

■ LINEに友だち追加する方法

1. 「QRコード」から追加する

LINEアプリホーム画面の「友だち追加」アイコンをタップし、「QRコード」アイコンをタップして、下記のQRコードを読み取り、表示されたリンクアドレスをタップして、表示された「広島県大竹市」アカウントの「追加」をタップしてください。



2. LINEホーム画面から検索する

LINEアプリホーム画面の「検索」欄に、「広島県大竹市」と入力して検索し、表示された「広島県大竹市」アカウントの「追加」をタップしてください。

3. 友だち検索から追加する

LINEアプリホーム画面の「友だち追加」アイコンをタップし、検索アイコンをタップして表示された「友だちのID検索」欄に「@otakecity」を入力して検索し、表示された「広島県大竹市」アカウントの「追加」をタップしてください。



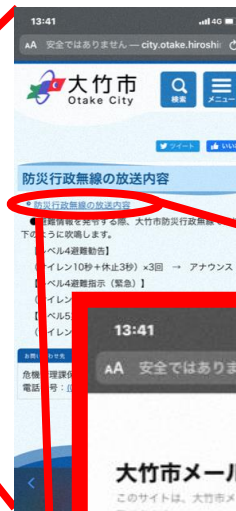
「大竹市緊急避難場所・指定避難所一覧」

ホームページ:防災メールの内容を過去にさかのぼって確認できる

緊急時連絡先

- 災害時緊急電話 … 災害時に災害対策本部へ通報や連絡を行う緊急番号
0827-57-7120
- 大竹市役所代表 … 夜間・休日などのお問い合わせ
0827-59-2111
- 大竹市危機管理課 … 通常時の防災に関する相談・お問い合わせ
0827-59-2119
- 災害情報テレホンサービス … 防災行政無線の放送内容を電話で聞けます
0120-590-131 (無料)
- 防災情報ホームページ
防災行政無線の放送内容をホームページで確認できます
<http://otake-city.site.ktaiwork.jp/>

ホームページQRコード



大竹市メール配信サービス

このサイトは、大竹市メール配信サービスで配信された情報が閲覧できます。

ホーム 登録方法 大竹市ホームページ

消防団秋季出動訓練に伴うサイレン吹鳴について

投稿日時: 2020年11月8日 投稿者: otakecityuser

【令和2年11月8日午前6時50分の防災無線放送内容】
こちらは、大竹市消防団大竹市役所です。
消防署からのお知らせです。
本日、消防団秋季出動訓練の為、午前7時にサイレンを吹鳴します。
災害ではありませんので注意して下さい。

カテゴリ: 未分類

【訓練】防災行政無線を使用した全国一斉緊急地震速報訓練放送の実施について

投稿日時: 2020年11月5日 投稿者: otakecityuser

●防災情報ホームページ

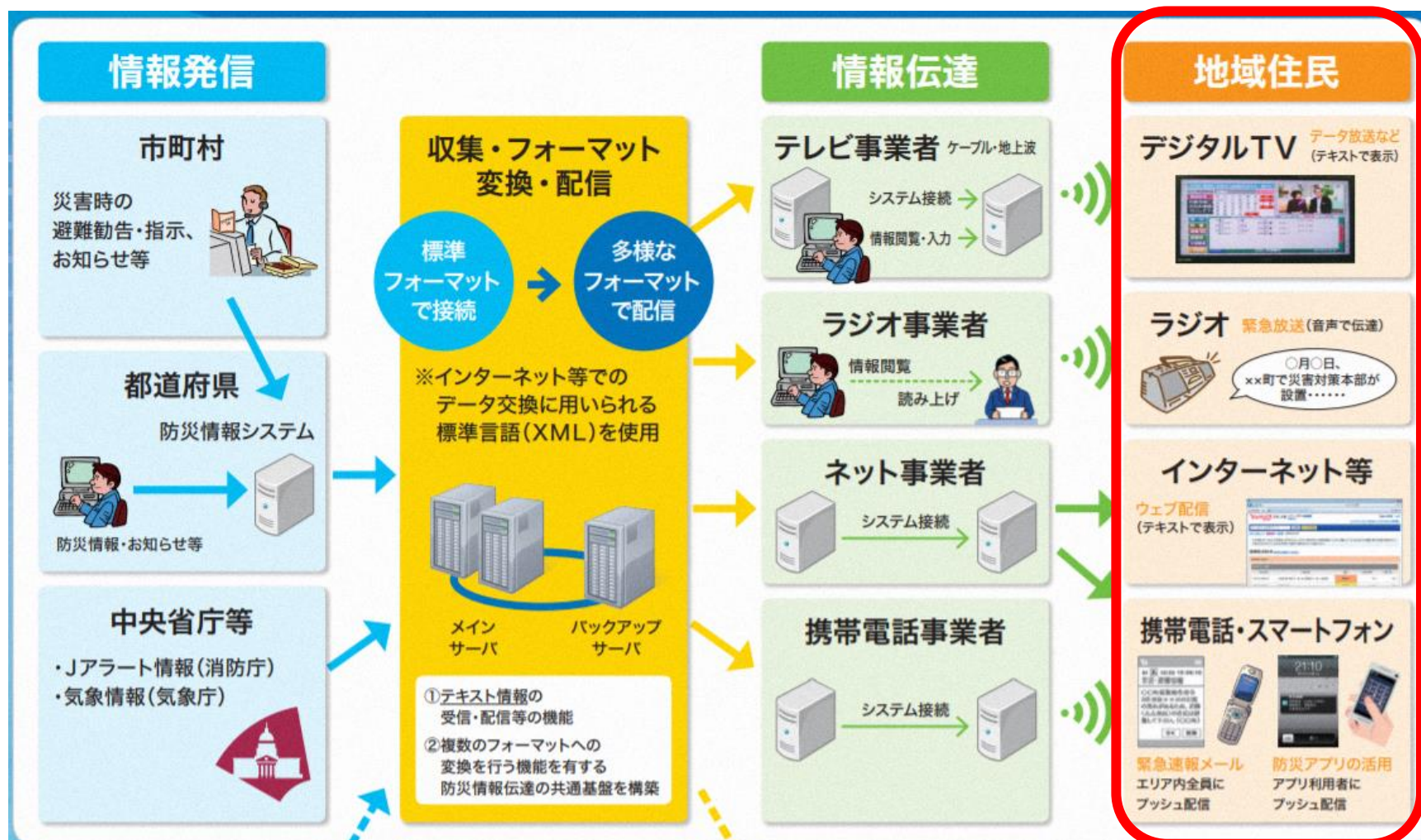
防災行政無線の放送内容をホームページで確認できます

<http://otake-city.site.ktaiwork.jp/>



令和5年度版
～QRコードで簡単にスマホ表示

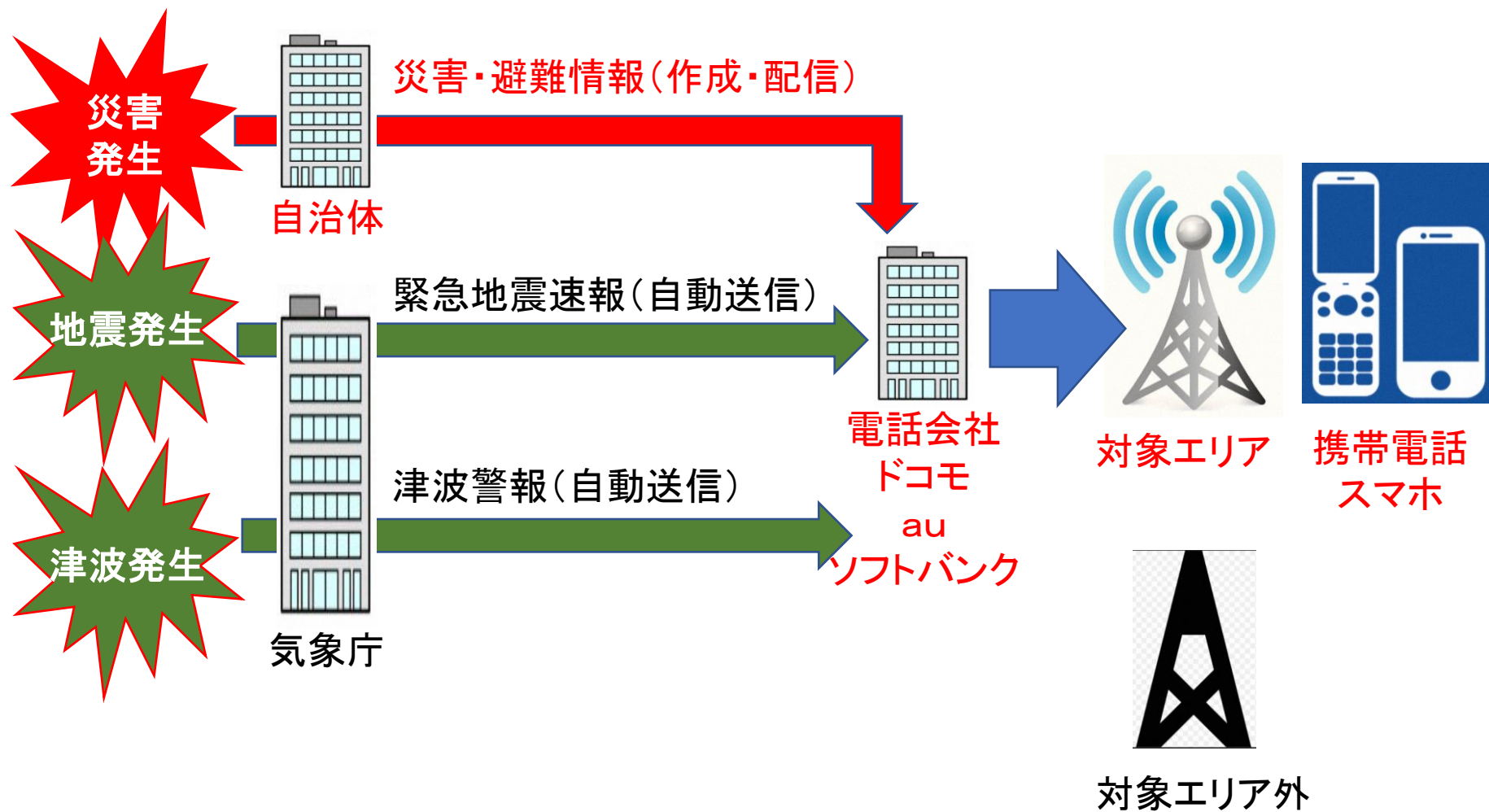
Lアラートとは、市町が発令した災害・避難情報を
テレビ、ラジオ、インターネット、携帯電話、スマホなどを通じて伝達するシステム



⑤-1 緊急速報メール エリアメール

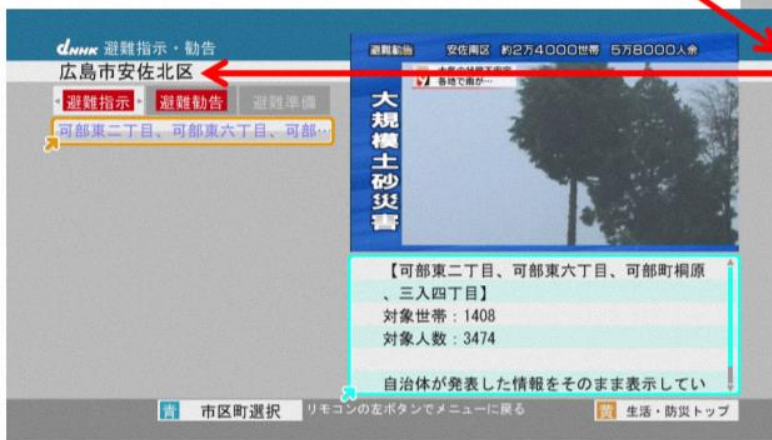
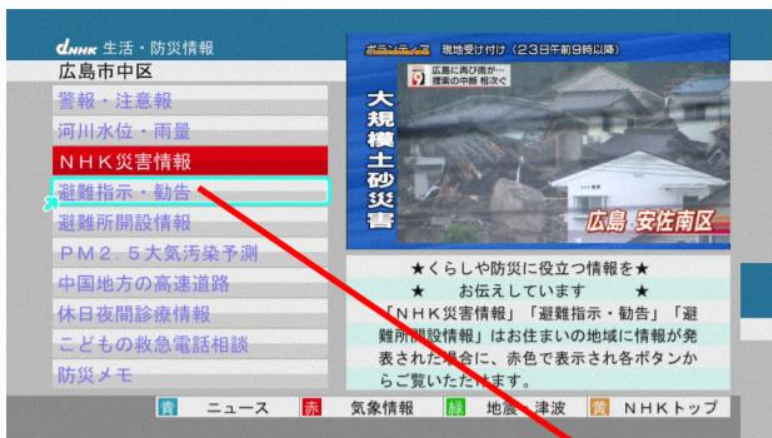
← au、ソフトバンク
← 楽天モバイル
← ドコモ

Lアラートに配信された情報が電話会社毎に自動配信



Lアラートに配信された情報がテレビ(地上波デジタル放送)放送
L型に文字エリア

NHKの例



朝日放送系の例

これまでの表示



エリア限定強制表示



Yahoo! 防災速報とは

スマホ防災アプリ(無料)

66

出展: <https://emg.yahoo.co.jp/>

令和7年2月20日 追加

YAHOO! JAPAN 防災速報

災害から命を守る
ヤフーの防災アプリ

ひとりひとりに合った情報をお届け
Yahoo! 防災速報

6000万ダウンロード突破!

App Store からダウンロード
iOS 16~対応

Google Play でダウンロード
Android 7~対応

QRコード

防災情報通知
災害マップ
防災手帳

②

災害マップ

ユーザー同士で状況を共有でき
どんな災害がどこまで迫っているかがわかります

ユーザーによる
状況の共有

ライフラインの
供給情報

報道メディア・NPO等
連携パートナーによる投稿



①

防災情報通知

さまざまな防災情報を迅速にプッシュ通知
早め早めの行動判断をサポートします

現在地と国内3地点まで
設定可能

緊急地震速報など
さまざまな情報に対応

「防災タイムライン」で
備えや行動を確認できる

③

防災手帳

防災で一番大切な普段の備えから
災害で困ったときに役に立つ情報を幅広く掲載

避難場所リスト

ハザードマップ

緊急連絡先

防災用品

困ったときは

Yahoo! 防災速報とは

① 防災情報通知

さまざまな防災
情報を迅速に
プッシュ通知

早め早めの行動
判断をサポートし
ます。

緊急地震速報
津波警報など
はここです。



防災情報通知

さまざまな防災情報を迅速にプッシュ通知
早め早めの行動判断をサポートします



現在地と国内3地点まで
設定可能



緊急地震速報など
さまざまな情報に対応



「防災タイムライン」で
備えや行動を確認できる

Yahoo! 防災速報とは

② 災害マップ

ユーザー同士で
状況を共有でき
どんな災害がど
こまで迫っている
かがわかります。



災害マップ

ユーザー同士で状況を共有でき
どんな災害がどこまで迫っているかがわかります



ユーザーによる
状況の共有



ライフラインの
供給情報



報道メディア・NPO等
連携パートナーによる投稿

③ 防災手帳

防災で一番大切な普段の備えから、災害で困ったときに役に立つ情報を幅広く掲載しています。



防災手帳

防災で一番大切な普段の備えから
災害で困ったときに役に立つ情報を幅広く掲載



避難場所リスト



ハザードマップ



緊急連絡先



防災用品



困ったときは




実際に触ってみましょう

70

令和7年2月20日 追加

YAHOO! JAPAN 防災速報



災害から命を守る ヤフーの防災アプリ



ひとりひとりに合った情報をお届け
Yahoo!防災速報

6000万ダウンロード突破！



自分のスマホで
QRコードを
読み取り起動



防災情報通知



災害マップ



防災手帳

次 第

- 1 国内の状況（災害の激甚化・多発化）
- 2 広島県の特徴
- 3 大竹市の特徴
- 4 時代が求める防災のあり方の変化
- 5 避難情報
- 6 避難行動のあり方
- 7 備蓄
- 8 緊急避難場所・指定避難所
- 9 避難情報の入手方法
- 10 ハザードマップ

国交省	広島県	大竹市	災害種別			災害規模	データ作成元	根拠法令	作成年
×	○	○	洪水災害	玖島川	浸水区域	1000年に1度の大雨 ※1	広島県	水防法	令和3年度(初)
○	○	○		小瀬川	浸水区域	1000年に1度の大雨 ※1	国交省	水防法	平成28年度(初) 令和2年度更新
○	×	△ リンクのみ			家屋倒壊等氾濫 想定区域				
○	○				浸水 継続時間				
×	×	△		新町川 大膳川 恵川	浸水区域	独自シミュレーション (50年に1度の大雨)	大竹市	—	平成27年度以前
○	○	○	土砂災害			※2	国交省 広島県	土砂災害 防止法 ※7	令和2年度更新
○	○	○	津 波			南海トラフ巨大地震 による津波 ※3	広島県	地震防災対策 特別措置法	平成25年度(初)
×	△	○	地 震			南海トラフ巨大地震 ※4 安芸灘断層地震			
○	○	○	高 潮			県指導シミュレーション (30年に1度の台風)※5		—	平成20年度
○	○	×				想定最大規模台風 ※6			水防法 (ハザードマップ としては未適用)
×	×	△	内水氾濫			既往最大規模/7年に1度の 大雨の2種	大竹市		令和4年度(初)

※1: 1,000年に1度の大雨＝小瀬川流域の24時間総雨量428mm

※2: 地形や地質、土地の利用形態などを現地測量し、土石到達範囲などを計算し算出

※3: 南海トラフ巨大地震による津波＝潮位が年間で最も高い時に南海トラフ巨大地震による津波が発生し、堤防が機能しない場合

※4: 南海トラフ巨大地震＝大竹市にマグニチュード9.1、最大震度6強、約4分間揺れが続いた場合

※5: 30年に1度の台風＝伊勢湾台風の規模でルース台風の経路を通り、堤防が機能した場合

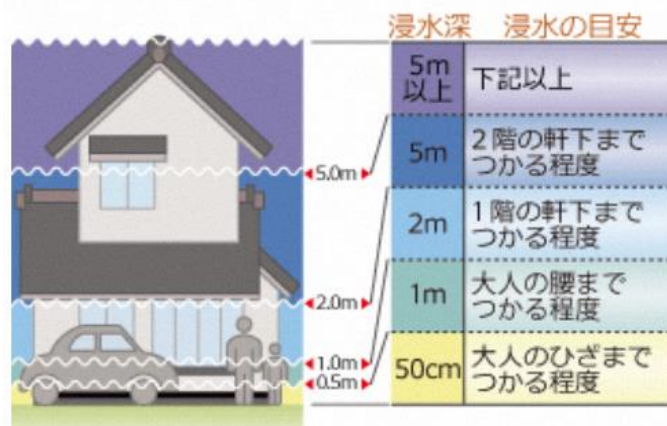
※6: 想定最大規模台風＝室戸台風の規模、伊勢湾台風の半径と速度の台風が、潮位偏差が最大となる経路を通り、堤防が決壊した場合

※7: 土砂災害防止法＝土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

大竹市

	5.0m以上
	2.0m以上 ~ 5.0m未満
	1.0m以上 ~ 2.0m未満
	0.5m以上 ~ 1.0m未満
	0.5m未満

洪水災害ハザードマップ 浸水深 表示の違い



浸水深m

10.0

5.0

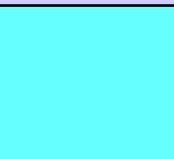
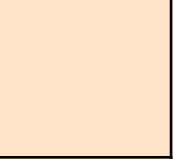
3.0

2.0

1.0

0.5

0.3

大竹市	広島県	国交省
		
		
		
		
		
		
		

広島県

計画規模・想定最大規模

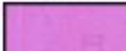
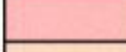
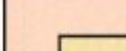
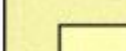
 20.0-	 3.0-5.0	 0.3-0.5
 10.0-20.0	 1.0-3.0	 0.0-0.3
 5.0-10.0	 0.5-1.0	

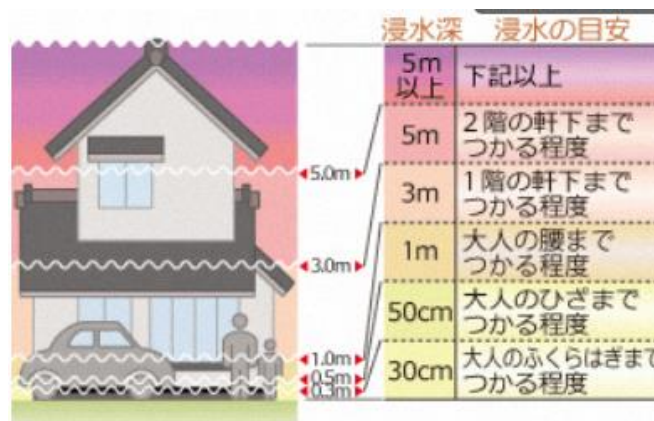
(m)

▼ 浸水

表示方法に
違いはある
が同じデータ
に基づく

国交省

	20m ~
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	0.5m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	~ 0.5m
	~ 0.3m



国交省
重ねるハザードマップ

ハザードマップで確認してみましょう⁷⁴



QRコード
読み込み

土砂災害の危険性：急傾斜地の崩壊特別警戒区域(指定済)（傾斜度が三十度以上である土地が崩壊する自然現象）
土砂災害の危険性：土石流警戒区域(指定済)（山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象）

結論
土砂災害
(特別)警戒
警戒区域内
レッドゾーン
イエローゾーン

住所入力
(入力例)
元町公園の場合
「大竹市元町3-14」

タップ

タップ

「+」を
タップ
ズームアップする

画面中央の
+印を
タップ

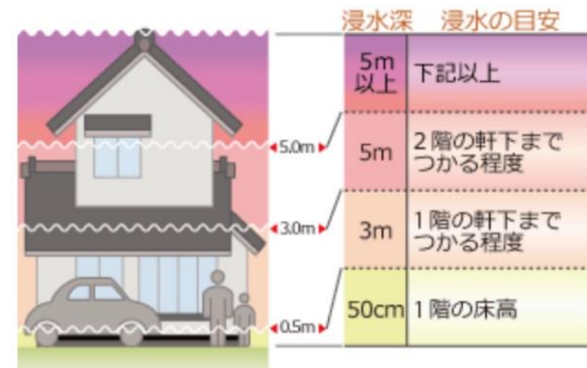
土砂災害の危険性：急傾斜地の崩壊特別警戒区域(指定済)（傾斜度が三十度以上である土地が崩壊する自然現象）
土砂災害の危険性：土石流警戒区域(指定済)（山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象）

広島県
洪水ポータル・スマホ版

ハザードマップで確認してみましょう⁷⁵



栗谷地区(玖島川)
の洪水は、国交省重
ねる・・・では非公開
公開中の県・市版
で確認が必要(浸水
深が数値で見える県
版を紹介)

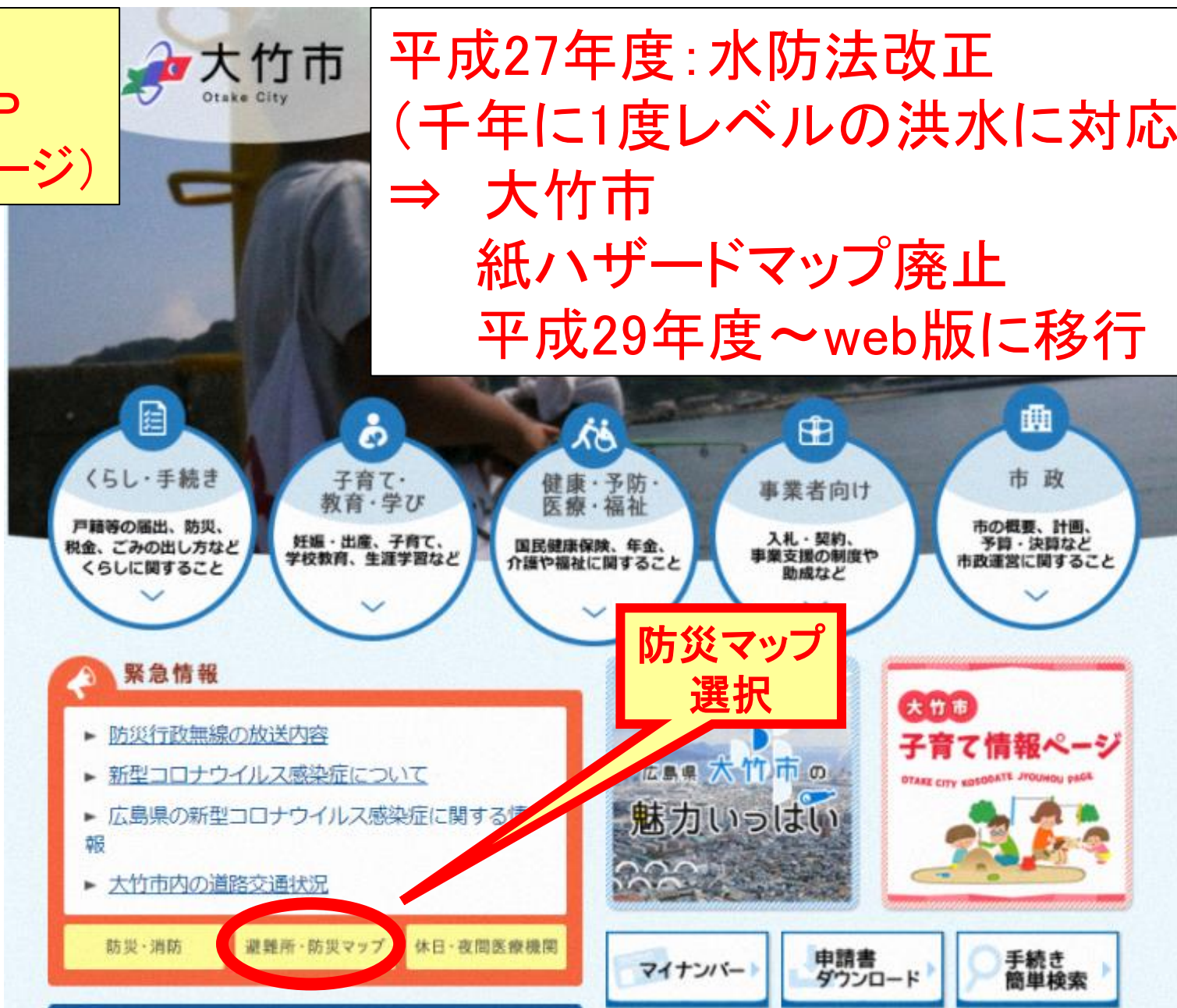


浸水深(m)

1.0-3.0

表示方法
大竹市HP
(トップページ)

平成27年度：水防法改正
(千年に1度レベルの洪水に対応)
⇒ 大竹市
紙ハザードマップ廃止
平成29年度～web版に移行



①～④選択⇒ハザードマップ表示
国土交通省、広島県、大竹市
毎年最新の内容に更新
得られる情報はほぼ同じ

WEB版ハザードマップ

災害から選ぶ
ご確認ください

大雨に関するマップ

地震に関するマップ

津波・高潮に関するマップ

②選択

③選択

WEB版ハザードマップ

災害から選ぶ
ご確認ください

洪水(小瀬川氾濫)に関するマップ

土砂災害に関するマップ

③選択

避難所・防災マップ

大竹市緊急避難場所・指定避難所一覧 (PDF : 178.8KB)

※令和2年8月31日から令和3年2月末まで、大竹会館改修工事に伴い、大竹地区の第1次避難場所が「大竹小学校」、第2次避難場所が「郷水会館」に変更となっています。

WEB版ハザードマップ(小瀬川洪水、土砂災害、地震、津波、高潮)

大竹市内河川浸水想定図(50年に1度規模の雨による新町川・大膳川・恵川) (PDF : 3.1MB)

①選択

WEB版ハザードマップ

確認事項

『Web版ハザードマップ
利用条件の全ての内容
同意いただけない場合

④同意する
選択

同意する

同意しない

9 大竹市ハザードマップ

洪水(小瀬川氾濫)

土砂災害

津波

高潮

南海トラフ巨大地震

土砂災害



←スマホで確認

①災害種類

【指定避難所】

小方小・中学校（小方学園）

広島県大竹市小方ケ丘1-1
0827-57-7158, 0827-57-7211

現在地からの距離：約1,198m

②避難場所クリック

地図上に示す記号の凡例



指定避難所

災害により住宅に危険が予測される場合や住宅が損壊した場合など、長期滞在が必要な場合に避難する施設



緊急避難場所

災害により住宅に危険が予測される場合に、一時的に避難する施設



福祉避難所

高齢者や障がいのある方など、避難所での生活において特別な配慮が必要な方が避難する施設



浸水時緊急退避施設

津波や洪水などの浸水が目前に迫った場合に、緊急一時的に避難するための施設



広域避難場所

地震や火災などにより地域全体が危険になった場合に避難する場所（総面積10ヘクタール以上）



一時避難場所

地震や火災などにより地域全体が危険になった場合に避難する場所（総面積10ヘクタール未満）

③警戒区域・特別警戒区域

急傾斜地崩壊（がけ崩れ）

傾斜度30度以上である土地が崩壊する自然現象



土砂災害特別警戒区域

著しく危害が生じるおそれのある地域



土砂災害警戒区域

危害が生じるおそれのある地域

土石流

山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体になって流下する自然現象



土砂災害特別警戒区域

著しく危害が生じるおそれのある地域



土砂災害警戒区域

危害が生じるおそれのある地域

地すべり

土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象



土砂災害特別警戒区域

著しく危害が生じるおそれのある地域



土砂災害警戒区域

危害が生じるおそれのある地域

④

自宅場所が色付きの場合
⇒ 災害の危険あり
⇒ 立退き避難

9 大竹市ハザードマップ

洪水(小瀬川氾濫)

土砂

79

洪水災害

標準

航空写真



⇐スマホ
で確認

洪水（小瀬川氾濫）

一定の条件の下で大雨が降り、小瀬川の堤防が決壊し氾濫した場合の浸水区域と浸水深を示したもの

	5.0m以上
	2.0m以上 ～ 5.0m未満
	1.0m以上 ～ 2.0m未満
	0.5m以上 ～ 1.0m未満
	0.5m未満

地図上に示す記号の凡例

指定避難所



災害により住宅に危険が予測される場合や住宅が損壊した場合など、長期滞在が必要な場合に避難する施設

緊急避難場所



災害により住宅に危険が予測される場合に、一時的に避難する施設

福祉避難所



高齢者や障がいのある方など、避難所での生活において特別な配慮が必要な方が避難する施設



浸水時緊急退避施設

津波や洪水などの浸水が目前に迫った場合に、緊急一時的に避難するための施設



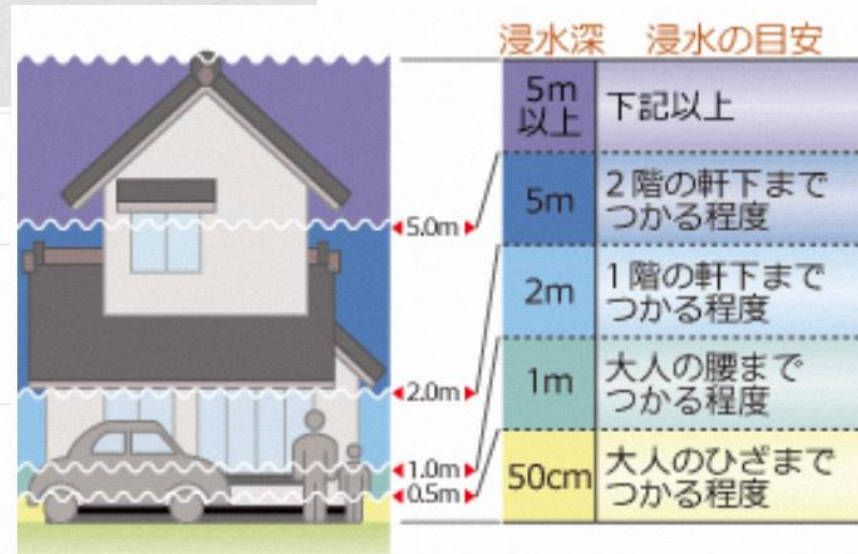
広域避難場所

地震や火災などにより地域全体が危険になった場合に避難する場所（総面積10ヘクタール以上）



一時避難場所

地震や火災などにより地域全体が危険になった場合に避難する場所（総面積10ヘクタール未満）



補足資料

[▶ 組織・予算・税制](#)
[▶ 災害情報](#)
[▶ 防災対策](#)
[▶ 被災者支援](#)
[▶ 広報・啓発活動](#)
[▶ 国際防災協力](#)
[▶ 会議・検討会](#)

[お役立ち情報](#)
[🔗 一般向け](#)
[🔗 企業・団体向け](#)
[🔗 地方自治体向け](#)



検索

🔗 [検索の使い方](#)

[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [防災情報のページ](#) > [防災対策制度](#) > [風水害対策](#) > [避難情報の判断・伝達](#) > 避難情報に関するガイドラインの改定（令和3年5月）

避難情報に関するガイドラインの改定（令和3年5月）

中央防災会議、防災対策実行会議の下「令和元年台風第19号等による災害からの避難に関するワーキンググループ」からの提言が令和2年3月にとりまとめられ、本提言を踏まえ引き続き制度的な論点を議論した「令和元年台風第19号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループ」からの提言が令和2年12月にとりまとめられました。

サブワーキンググループからの提言を踏まえ、災害対策基本法が令和3年に改正（災害対策基本法等の一部を改正する法律（令和3年法律第30号）：5月10日公布、5月20日施行）されたことを受け、市町村が避難情報の発令基準等を検討・修正等する際の参考としていただけるよう、これまでの「避難勧告等に関するガイドライン」を名称を含め改定し、「避難情報に関するガイドライン」として公表します。

- ▶ [避難情報に関するガイドライン（令和3年5月改定、令和4年9月更新）（PDF形式：8.2MB）](#) 
- ▶ [避難情報に関するガイドライン（別冊）（令和3年5月改定、令和4年9月更新）（PDF形式：9.7MB）](#) 
- ▶ [避難情報等について（スライド形式）（PDF形式：6.2MB）](#) 

※令和4年9月、警戒レベル1「早期注意情報」に高潮が追加されることや、火山噴火等に伴う津波についても「遠地地震に関する情報」を用いて情報発信されることに関して、一部内容を更新しました。



○災害リスクのある区域等の居住者等が、自宅・施設等においては命が脅かされるおそれがあることからその場を離れ、対象とする災害から安全な場所に移動することが「立退き避難」であり、「立退き避難」が避難行動の基本である。

避難先例

1) 指定緊急避難場所

(災害の危険から身の安全を確保するために避難する場所として、あらかじめ市町村が指定した施設・場所。

小中学校、公民館、高台・津波避難ビル・津波避難タワー等)

2) 安全な親戚・知人宅、ホテル・旅館等の自主的な避難先

(これらが存する場所や避難経路が安全であることをハザードマップ等であらかじめ確認するとともに、遠方にある場合は早めに避難する。)

関係災害

洪水等、土砂災害、高潮、津波

タイミング

警戒レベル3高齢者等避難、警戒レベル4避難指示の発令時など

※津波が発生・切迫した状況で市町村長から発令される避難情報は「避難指示」である。

リードタイム※

リードタイムを確保できる場合にとるべき避難行動

※リードタイムとは、指定緊急避難場所等への立退き避難に要する時間のこと。リードタイムを確保可能であれば、災害が発生する前までに指定緊急避難場所等への立退き避難を安全に完了することが期待できる。

立退き避難



立退き避難(高齢者等の避難)



指定緊急避難場所への立退き避難



安全な親戚・知人宅への立退き避難



○災害から身の安全を確保するためには災害リスクのある区域等からの「立退き避難」が最も望ましいが、洪水等及び高潮については、住宅構造の高層化や浸水想定(浸水深、浸水継続時間等)が明らかになってきていること等から、災害リスクのある区域等に存する自宅・施設等においても上階への移動や高層階に留まること等により、計画的に身の安全を確保することが可能な場合がある。この行動が「屋内安全確保」であり、居住者等がハザードマップ等を確認し自らの判断でとる行動である。

避難先例

- 1) 自宅・施設等の浸水しない上階への移動(垂直避難と呼称されることもある)
- 2) 自宅・施設等の浸水しない上層階に留まる(待避)

関係災害

洪水等、高潮

タイミング

警戒レベル3高齢者等避難、警戒レベル4避難指示の発令時など

リードタイム

リードタイムを確保できる場合に(居住者等の自らの確認・判断で)とり得る避難行動

屋内安全確保@戸建て

2階なら安全！
今夜はみんな2階で寝よう！



— ■ — 想定最大浸水深

屋内安全確保@集合住宅(待避)

ここなら安全！



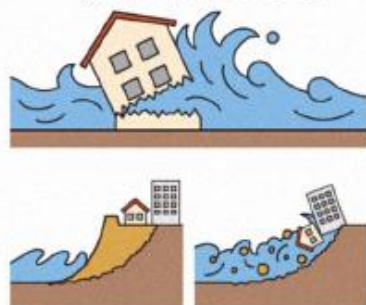
○ただし、自宅・施設等自体は浸水するおそれがあるため、「屋内安全確保」を行うためには少なくとも以下の条件が満たされている必要がある。

- ❶ 自宅・施設等が家屋倒壊等氾濫想定区域※¹に存していないこと
- ❷ 自宅・施設等に浸水しない居室があること
- ❸ 自宅・施設等が一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障※²を許容できること

※¹ 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

※² 支障の例: 水、食糧、薬等の確保が困難になるおそれ
電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれ

❶ 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると…)



流速が速いため、
木造家屋は倒壊する
おそれがあります

地面が削られ家屋は
建物ごと崩落する
おそれがあります

❷ 浸水深より居室は高い



❸ 水がひくまで我慢でき、
水・食糧などの備えが十分
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の
使用ができなくなるおそれがあります



※❶家屋倒壊等氾濫想定区域や❸水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

○「立退き避難」を行う必要がある居住者等が、適切なタイミングで避難をしなかった又は急激に災害が切迫する等して避難することができなかった等により避難し遅れたために、災害が発生・切迫(切迫とは、災害が発生直前、又は未確認だが既に発生している蓋然性が高い状況)し、立退き避難を安全にできない可能性がある状況に至ってしまったと考えられる場合に、立退き避難から行動を変容し、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点でいる場所よりも相対的に安全である場所へ直ちに移動等することが「緊急安全確保」である。

避難先例

※本行動をとったとしても身の安全を確保できるとは限らない。

- 1) 洪水等、高潮及び津波のリスクがある区域等においては、自宅・施設等の少しでも浸水しにくい高い場所に緊急的に移動したり、近隣の相対的に高く堅牢な建物等に緊急的に移動する。
- 2) 土砂災害のリスクがある区域等においては、自宅・施設等の崖から少しでも離れた部屋で待避したり、近隣の堅牢な建物に緊急的に移動する。

関係災害

洪水等、土砂災害、高潮、津波

タイミング

警戒レベル5緊急安全確保の発令時など

※ただし、市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令されるものではない。
※津波が発生・切迫した状況で市町村長から発令される避難情報は「避難指示」である。

リードタイム

リードタイムを確保できない場合にとらざるを得ない避難行動

自宅の少しでも高い場所に移動



近隣の少しでも高い建物に移動



崖から離れた部屋に移動

